

# 福岡大学

## 学園通信

人と夢を紡ぐ  
コミュニケーションマガジン

No. 44

January, 2014

心の手と手をつなぐ。そこには温もりが。  
この温もりを、もつとつなげていきたい。

「つなげる」





多くの人のために、自分を育むために。気持ちを未来につなげるために。  
2011年3月11日に起った東日本大震災。その後、福岡大学の学生から「現地へボランティア活動に行きたい」という声が上がりました。本学は拙速とならないよう入念な準備期間を設け、2011年の夏に「第1次福岡大学派遣隊」として、100人を超える学生が現地への支援活動を実施。翌年の第2次派遣隊も、100人以上が現地に赴きました。そして昨年の夏、第3次派遣隊も26人が現地へ。第3次派遣隊に参加した学生5人が、隊長を務めた小野寺学生部長を囲み、東北での体験を通して得たこと、これから自分たちでできることなどを語り合いました。



## 東日本災害ボランティア「第3次 福岡大学派遣隊」参加学生ディスカッション

### 初参加、2度目の参加、それぞれの思いを胸に

小野寺 ■今日は貴重な体験を語り合いながら、ボランティア活動とは何か、私たちにできることは何かということをみんなで考えていきたいと思います。ボランティアは活動だけにとどまらず、そこで見て、感じたことを広く伝え、気持ちをつなげていくことも大切です。それぞれの胸にある思いを充分に語り合いましょう。まず、今回の派遣隊に参加したきっかけや理由を教えていただけますか。

西田 ■私は第2次派遣隊の活動報告パンフレットを見て、同じ福大生が被災地で頑張っていたことを知り、自分にもできることがあるかもしれないと思慕しました。

三ヶ尻 ■私はキャンバスでボランティア募集の看板を見て、学生課を訪ねました。何で人の役に立ちたい、復興に貢献したいと思ったからです。

安立 ■震災が起ったその年にもボランティア活動に行きたいとは思っていましたが、私は大学で募集していることを知らず、すぐ行動に出ることができませんでした。今は、メンバーを募集していることをSNSで知った友人から聞き、参加できました。

伊達 ■私は高校時代から派遣隊の活動を知っていて、大学に入ったら今まででたことがない体験がしたいと思っていたので、迷わず参加しました。



## その活動が、人の心と心をつなげる

人の役に立ちたい。  
その熱い気持ちは人と人をつなぎ、  
今日を未来へつなげていきます。  
福岡大学は学生部を中心に、  
学生のボランティア活動をサポートしてきました。  
今回は本学のボランティア活動を紹介しながら、  
その意義や魅力などを語り合います。  
社会と自分自身を豊かに育むために。  
さあ、あなたも始めてみませんか。

# 特集 福岡大学ボランティア

東日本大震災による被災地の復興を願い  
人々の心をつなぐシンボルとなった、陸前高田市の奇跡の一本松。

**西田直人さん**  
法学部法律学科  
3年次生



B班のリーダーとして初めての派遣隊参加。みんなを盛り上げるムードメーカーのような存在で、「班のメンバーと同じ気持ちでボランティア活動ができるように心を配りました。」

### 教えられたことを地元にも役立てたい

からの数日間に行なった活動をまとめて報告しました。彼らのボランティアに対する気持ちの強さや内容が素晴らしく感動的でした。

前田　私も、同年代で頑張っている彼らを見て、いい刺激を受けました。また「東北のことを考えてくれる人はうれしいけれど、同じくらいの気持ちで皆さんの地元にも目を向けてほしい」と言わされたことが、強く印象に残っています。被害の大きい東北には

ほどの作業を終えて地面を見渡すと、驚くほど少ししか進んでいなくて、自分たちの無力さを思い知りました。  
**西田**　現地の方は「誰がやつても、こんなもんだよ。ありがとう」と言ってくれましたが、力になりたい気持ちと出せる結果に差があり、とても悔しかったです。  
**安立**　私が心動かされたのは、仮設住宅を訪問したときに出会った、現地の皆さんのが優しさと温かさ。けれども、ふとしたときにはうかがえる表情からは、まだ癒えていない震災の痛みも伝わってきました。こちらから当時の話を聞くことは遠慮していたのですが、あちらから話をしてくれました。新聞やテレビでは報道されない内容も

西田　B班のメンバーからリーダーを務めた西田さんへの感謝の思いが綴られたTシャツ。「チームのありがたみを実感しました。」



### 派遣隊員の思い出の品【西田さん・安立さん・前田さん】

西田さん

B班のメンバーからリーダーを務めた西田さんへの感謝の思いが綴られたTシャツ。「チームのありがたみを実感しました。」



安立さん

写真後列の右から2番目が安立さん。現地で出会ったボランティア仲間が撮影してくれた記念の一枚。「このつながりが大切な宝物です。」

前田さん

A班のメンバーからもらった寄せ書きTシャツと第2次派遣隊の仲間だった先輩の思いを受け継いだ福岡大学Tシャツ。

**安立 森さん**  
商学部商学科  
2年次生

C班の一員として派遣隊に初参加。仮設住宅や小学校訪問では現地の方との交流に心を碎いた。「私たちがメディアで知ることは氷山の一角。福岡でもできる支援を今後も続けたい」。



**小野寺**　そうでしたか。あなたが入学前からその存在を知っているほどに、実績を挙げられたことを誇らしく思います。では、今回、学生代表を務めた前田さんににお話を。

**前田**　A班のリーダーと学生代表を兼任させていただき大変光栄でした。私は第2次派遣隊に参加して、ボランティア活動の大変さとその先にある達成感を実感しました。もちろん楽ではありませんでした。が人の役に立ちながら自身も人間的に成長できる貴重な機会でしたので、第3次派遣隊にも参加し、自分の目で東北の今を知りたいと思って手を挙げました。

**小野寺**　「福岡大学派遣隊」の特長は現地で、自分の目で東北の今を知りたいと思って手を挙げました。

**前田**　A班のリーダーと学生代表を兼任させていただき大変光栄でした。私は第2次派遣隊に参加して、ボランティア活動の大変さとその先にある達成感を実感しました。もちろん楽ではありませんでした。が人の役に立ちながら自身も人間的に成長できる貴重な機会でしたので、第3次派遣隊にも参加し、自分の目で東北の今を知りたいと思って手を挙げました。

ありますか。

**安立**　事前研修として行った地域清掃活動は、現地でとても役立ちました。体を使

う作業を事前に行なうこと、服装や道具についても何が必要かが明確になったと思います。事前準備のおかげで、各班のまとまりもよくなりました。

に行く前に、今求められているのは何か、というニーズを調べ、準備を重ねると、いう過程を踏むことだと思います。さらにその過程で、人の気持ちを考え、動く

こと

です。

というボランティア活動の基本を身に付けて、派遣隊のチームワークも養われる

ことです。この事前準備の過程で、印象に残っていることは

あります。

**西田**　確かにそうです。ケルーブワークなどを通して話し合いを重ねたことで、事前研修後には、団結力が強まっています。また事前に第2次派遣隊に参加した人の話を聞く場が設けられ、テレビや新聞だけでは分からぬ現地の状況を想像することができたのもありがたい機会でした。例えれば、つい言ってしまうまい「そうな、がんばれ」と教えられました。そいつた話を聞いて

なり、気持ちが一つになつていくを感じました。

**※SNS=TwitterやFacebook、mixiなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス。**

**西田**　入念な準備を経て、東北の現地に入ったのは8月26日。実際に活動を行なってみて、どのようなことを実感しましたか。

**前田**　震災から3年近くが経ち、現地の様子が毎日のようになじみ、報道されることはありませんしかしまだだ復興が終わつたとはとても言えない状況です。現地には當時の爪痕がいたるところに残されています。

いたので、現地の方と接するときも相手の立場に立って考えるよう意識することができたと思います。

**三ヶ尻**　定期的に各班が集まって話

し合い、計画を立てていきました。最初はお互い遠慮し合つてきこちなく感じることもあるましたが、徐々にしつかり意見を出し合えるようになります。



**前田 光太郎さん**  
法学部法律学科  
3年次生

第2次に続き、2回目の派遣隊。今回はA班のリーダーと学生代表を兼任し、メンバーを率いる存在に。「震災の記憶を風化させず、見て、感じてきたことを伝えたい」。



いたので、現地

方と接するときも

相手の立場に立つて考

えるよう意識

することができた

と思います。

**西田**　田んぼのがれき撤去をやらせてもらいましたが、「見平たんに見える所も車のドアなど巨大ながれきが出てきます。3年近く経つてもまだこうしたもののが土のすぐ下に埋まっている状況で、田畠で作物を育てるのもままなりません。機械を使えば人力より早く片付きますが、小さいものは人の手で分別しながら取り除く必要があるそうです。まだ大人手と時間が必要なのだ」と実感しました。

**伊達**　私もがれきの撤去作業を行いましたが、掘り起こすとお皿のかけらやお箸が出てきました。当たり前の当たりにして、奪われたことを目の当たりにして、言葉にできない思いが込み上げてきました。半日

**小野寺** ■今後は、この体験をどのように生かしていきたいですか。

当たり前だと思つてゐる方が実はあります。たことなど気付くいい機会です。

**西田**　今回の体験を一人でも多くの人に伝えていきたいです。ボランティア活動というと敷居が高く、気負ってしまいます。が、同じ福大生なのだから皆さんにもできます。

伊達 綾子さん  
スポーツ科学部  
スポーツ科学科  
1年次生

入学前から派遣隊への参加を計画し、1年次生で初参加。「他学部学生とのつながりもできて自己成長につながった。次回はもっと積極性を持って参加したいです!」

によって人の気持ちを理解できる社会人一人一人を育てる大学です。そして成長の大きなきっかけの一つとしてボランティア活動があります。活動を通して、自分に



学童支援で出会った子どもたちの笑顔は宝物。

芽生えた思いやりの種を他の人の心にも  
まいてください。そして、できるだけ多くの学  
生の皆さんに、参加してほしいと思います。



学生部長  
**小野寺一浩** 教授  
(法学部)

第3次派遣隊の隊員として学生26人を引率。「自身も東北の出身として、学生たちの積極的な活動勢をうれしく思います。困っている人を助けるの大魂を忘れずに、これからもできる範囲の支援を

西田 今、被災地に行かせていただき、

**前田** ボランティア経験の有無に問はず、さまざまなことを学べたようです。あらためて、この活動の意義や魅力を聞かせてください。



出会いとつながりに感謝



派遣隊員の思い出の品 [伊達さん・三ヶ尻さん]



七

A班の女性  
バー4人がお  
いで購入し  
サンガを足  
着けている  
北の女性の  
くり。願いは  
ろん、東北  
開だぞ！」



B班のリーダー西田さんがメンバー全員に贈った  
おにぎりは仲間との絆を強めました。

## 東日本災害ボランティア 「第3次 福岡大学派遣隊」

### 現地活動 スナップレポート



# 皆さんもボランティア活動に参加してみませんか。

福岡大学にはさまざまなボランティア団体があります。今回は8つの団体を紹介します。学生課では「ボランティア登録」をすると、メールで情報を提供したり、すぐに始められる活動の紹介も行っています。興味のある方は学生課へお気軽にどうぞ。



## はかたわん海援隊

博多湾をきれいにする  
という最終目標に向かって

月に一度福岡大学の近くを流れ  
る桶井川で清掃活動を行っている、  
はかたわん海援隊。最終的な目標は  
サークル名通りに「博多湾をきれい  
にする」こと。その第一歩として博多  
湾に注ぐ桶井川・室見川で活動を  
行っているのです。他にも子どもたち  
を対象にした環境学習や小学校への  
出前講義、桶井川一帯環境調査など  
に取り組んでいます。毎月第1日  
曜日(7時45分～9時)に下長尾北公  
園・友泉亭公園・田島橋のいずれかで  
桶井川の定期清掃を続けています。  
自分が楽しくなければ他の人も楽し  
くないし、興味を持つてくれない」と  
合言葉で、メンバーたちは身近な環境  
保護活動に汗を流しています。



具体的には、月～度の大規模な天神  
地区の清掃活動および大学周辺の防  
犯パトロール、各種啓発活動など。  
2011年には、学生防犯ボランティ  
ア連盟(ACT)を発足させ、福岡の他  
大学の防犯ボランティア団体との交  
流も深めています。モットーは「でき  
るとき」、「できることを」。隊員たちは  
防犯の知識が無くても大丈夫。何か  
してみたいと思っている方はぜひ一  
度体験してください」と、参加を呼び  
掛けています。活動説明会も随時実施  
中です。



## 医学部看護学科 eggs

看護職のたまごとして  
地域社会に貢献したい

福岡大学学生チャレンジプロジェクト  
「つなげよう命のリレー」を受け継ぐ形で  
活動を始めた「eggs」。主に学内や地  
域において、次年度手当(AED)実技指  
導熟練症予防フレットの作成、急性  
期病院での心肺蘇生法の実習会や  
アルコール中毒の予防啓発、健康フェス  
ティのボランティア活動を行っています。  
また、自主的な勉強会をはじめ応急救  
当普員資格の取得認知症サポートー  
養成講習の受講など、自己研鑽にも勵  
んでいます。これからも活動幅を広げて  
いきたいと考えています。興味のある方  
は、気軽に声をかけてください。



ボランティア活動を通して障害があ  
る方と共に生きる社会を築くこと、社  
会に少しでも貢献しその貴重な体験を  
糧に自分の成長につなげていくこと。  
それがボランティアサークルの活動指  
針。活動は毎週土曜・日曜日の午前中が  
基本で、病院での本の読み聞かせ、老人  
ホームでのソーシャルワーキングや車いす洗いな  
ど職員の方の手伝いを行っています。  
モットーは「利用者の方々の手すりによ  
うな存在であること」。ウェルカムメッ  
セージは「ボランティアに対する興味だ  
けに終わらせず、実際に行動に移して  
充実した毎日を送りましょう。今から  
でも遅くありません」。障害がある方や  
お年寄りの方からの「ありがとうございます」の言  
葉や笑顔が活動のエネルギーです。



## 医学部看護学科 メンタルサポート研究会

高齢者の独りぼっちを  
少しでもなくしたい

この活動も福岡大学学生チャレンジプ  
ロジェクトからの継続「あなたのそばに  
わたがいる」独りぼっち高齢者ゼロ作  
戦!」から始まり、現在も地域の高齢者同  
士のつながりを深めることを目的として  
活動しています。具体的には、コミュニ  
ケーション技術を用いた練習会や  
問活動訪問した高齢者同士のつながり  
を深めるイベントの開催。今後は、高齢  
者の孤独をなくすため訪問活動を続け、  
さらに地域の方々と協力をしてイベント  
の開催を継続できるよう取り組んでいき  
ます」と、真剣に語るメンバーたち。このボ  
ランティア活動に共感を覚えた方は、医  
学部看護学科内で週に1回行われて  
いる練習会を訪れてみてください。



## 医学部看護学科 ボニョ音楽隊

入院中の子どもたちに贈る  
楽しい歌と演奏とダンス

入院中の子どもたちがベッドの中や車  
イスのままで歌と演奏、ダンスを楽し  
めるようにと始めたボランティア活動。  
福岡市立こども病院での七夕会とクリス  
マス会のイベントや福岡大学病院小兒  
科の夏祭りのお手伝いなどを実行していま  
す。イベントへの参加を通して子どもに  
どうやつたら近づけるか、喜んでもらえ  
るかをみんな一生懸命に考えるうち  
いつしか子ども自身で物事を考える難し  
さと楽しさを学んだそうです。ボニョ音  
楽隊はみんなが明るく楽しく、そして真  
剣に活動に取り組んでいます。楽器が弾  
けなくとも歌がうまくなくても大丈夫。  
「子どもが大好きでボランティアに少し  
でも興味のある方は、気軽に連絡を」。メンバーカからの熱いメッセージです。



## 学生防犯ボランティア連盟で 他大学との交流活動も行つ

2010年、防犯活動を通じた学生  
による社会貢献活動を目的に発足。福  
岡県警察や福岡県・福岡市・近隣地域  
の防犯活動および大学周辺の防  
犯パトロール、各種啓発活動など。  
2011年には、学生防犯ボランティ  
ア連盟(ACT)を発足させ、福岡の他  
大学の防犯ボランティア団体との交  
流も深めています。モットーは「でき  
るとき」、「できることを」。隊員たちは  
防犯の知識が無くても大丈夫。何か  
してみたいと思っている方はぜひ一  
度体験してください」と、参加を呼び  
掛けています。活動説明会も随時実施  
中です。

多くの方々の手すりの  
ような存在でありたい

子どもと一緒に遊ぶことも  
有意義なボランティア

和太鼓でできることを  
楽しみながら考えよう

## 福岡大学防犯ボランティア 「ななくま元気にするつ隊」

## ボランティアサークル ボランティアサークル

## 児童文化研究会

## 福岡大学和太鼓愛好会 鼓舞猿

児童文化研究会は、子どもと遊ぶボ  
ランティアサークル。活動は毎週月  
曜・金曜日の18時から20時まで愛好会  
会館で行うのが基本。また土曜・日曜  
日には学校や公民館の屋外で子ども  
たちと一緒に遊んでいます。さらに年  
に3度、人形劇やクイズ、バルーン  
アートなどさまざまな出し物を保育  
園などで公演しています。児童文化研  
究会のメンバーたちに話を聞くと「み  
んな優しくて樂しい仲間ばかりで、和  
氣あいあいと活動しています。この  
サークルで大学生活を楽しく充実し  
たものにしました。もし少しでも興  
味があれば、気軽に遊びに来てみてく  
ださい」と元気なメッセージが返って  
きました。

和太鼓の演奏で人と人のつながり  
をつくり、メンバー一人一人が成長  
することで地域振興に貢献し、さ  
まざまな人に元気と感動を与えてい  
ます。和太鼓を通して、老若男女を問わず、さ  
まざまな人と触れ合うことができる  
のが大きな魅力と話すメンバーた  
ち。「どのように演奏したら人々に感  
動や元気を与えられるのか、和太鼓  
で私たちができるとは何なのか、  
活動を通して一緒に考えてみません  
か」というウェルカムメッセージを  
くれました。

和太鼓の演奏で人と人のつながり  
を考えよう

自分だけのキャンパスライフがある。ここならきっと見つけられる。  
例えば、小さいころからの夢を見事にかなえた梅野さんのように。

大学4年間、ひたすらに努力を続け  
プロ野球という憧れに手が届いた



※読売新聞西部本社提供

## 好きな授業を PICK UP!

専門教育科目「卒業研究論文」  
渡邊 正和 スポーツ科学部 講師



3年次に学んだスポーツ科学演習をもとに各自が設定した研究課題を卒業研究論文として作成することを目的としています。そのための情報や先行研究、アンケートなどの調査研究を進めていき、卒業研究論文としてまとめ、発表を実施します。

### 梅野さんメモ①

プロ野球選手の先輩である渡邊先生に教わるために履修しました。自分も経験したドラフト会議をテーマに卒業研究論文を作成しています。プレゼンで精神力も養えそうです。

専門教育科目「スポーツ栄養学」  
小清水 孝子 スポーツ科学部 教授

スポーツ選手がコンディションを良好に保ち、効果的にトレーニングを行い、体づくりをするためには食事が重要な一因となります。そのためのスポーツ栄養に関する基礎知識と科学的理論を学び、実践できる能力をつけていきます。

### 梅野さんメモ②

もっと高みを目指すために、4年間かけて体重を10kg増やし、肉体改造をしました。その中で食事や栄養が果たす役割は大きく、体系的に学べるこの授業も役立ちました。

## 夢へ続いた一本道

### 福岡大学 体育部会 野球部

#### 樋口修二監督と振り返る夢への4年間

福岡工業大学附属城東高校時代から梅野さんに注目し、その成長を見守ってきた樋口修二監督に話を聞きました。高校生のときから打てるキャッチャーとして他を圧する存在でした。技術はもちろん、勝ちへのこだわりや妥協せず攻める姿勢が彼の最大の強みでしょう。彼が入部したことで部員全員の意識も引き上げられ、以前にも増して全国大会が近く感じられるようになりました」と部への影響の大きさを振り返ります。1年次生からスタメンでマスクをかかり、経験を積むごとにリードや捕球の腕を磨いていった梅野さん。野球部での思い出を尋ねると、「2年次生で日本代表に選ばれたことを機に、遠征の重要性を強く感じ、チームとして



「今後もOBとして部を見守る」と笑顔で約束



入団の喜び  
をかみしめ  
ガッズボーズ

#### 【遠征や試合がない日の平均的なスケジュール】

10:30~10:40	8:50~10:30	起床、朝食、準備
寮から徒歩で通学	10:40~12:10	授業
12:10~13:00	「すずらん」昼食	
13:10~16:30	13:00~13:10	いとん寮・帰宅
寮で休息	16:30~17:00	
17:00~20:30	バスで球場に移動	
野球部練習	20:30~21:00	
21:00~22:00	バスで大学に移動	
夕食	22:00~24:30	風呂、準備
24:30~8:50		
就寝		

困難や試練があつても  
搖らすことのなかつた  
プロ野球への情熱を  
これからも燃やし続ける

「やっとスタートラインに立りました」。昨年10月24日、プロ野球ドラフト会議で阪神から4位指名を受けた梅野さんはほほとした表情で今心境を語り始めました。梅野さんによると、野球をじていた父親に憧れて、小学生のころから野球を始め、高校時代には夢をプロ野球選手に定めていました。しかし、高校卒業

時点では「自分の納得のいく体ができるない。4年間で体をつくって実績を積みたい」とプロ野球になったOBやプロ野球出身者の指導者がいる福岡大学に入学。選抜投手の強肩を誇る捕手で、しかも長打力があり、大学通算24本塁打という輝かしい実績を残しています。1年次生からスタンメンとして活躍し、2年次生で初めて日本大学野球選手権大会に出場。3年次生では野球部の主将として、試合後は必ず部員とミーティングを重ね、走攻守でミスのない野球を目指しました。そして4年次生では日本大学野球選手権大会において、地方大学の選手としては初となる主将に抜てきされ、4番打者という大

役も果たしました。「主将に指名されたときは驚きましたが、地方大学だからとひるまず、チームを引っ張っていく責任感が湧いてきました。結果は打率3割1ム最多の4打点でした。プロという一筋の光を追い掛ける、迷いも摇らぎもない日々。その原動力は何だったのかと尋ねると「小学生のころ、母をがんばってくしました。後に父から聞かされたのですが、母は私はプロ野球選手にするのが夢だったのです。その約束を守るために家族が一つになりました」。しかしプロ野球選手への道は平坦で真すぐだったわけではありません。野球選手としては小柄で、甲子園の土でも踏んでいない

梅野さん。「大学で結果を出さなければ夢はかなわない」と全ての試合と打席で全力を尽しました。自分を信じ、目の前の試合を乗り越える力と一緒に成長していました。福岡大学での4年間を「トップアスリートを目指す人はばかりの寮で暮らしていました。競技は違うても同じ志を持つ仲間と励まし合いながら、自分のベースで自由に学はせてもらえる環境があつたかった」と振り返りました。最後に「次の目標としてここからが本当の勝負一軍に入つて正捕手として野球をしたい。やるからには歴史に名を残すようプロ野球選手になりたい」と力強く語りました。

スポーツ科学部スポーツ科学科 4年次生  
りゅうたろう  
梅野 隆太郎さん



1.本誌取材はドラフト会議の直前に実行された。力強くも丁寧に言葉を運んで話す梅野さんが印象的  
2.西日本新聞社の安枝新悟さんから贈られた2冊の本。キャプテンシーやゆめゆめ努力を学んだ  
(「野球魂・素顔の王監督」安枝新悟著 西日本新聞社)「一瞬に生きる」小久保裕紀著 小学館)  
3.昨年9月29日に実行された九州六大学野球秋季リーグ戦の福西戦にて、捕手を務める梅野さん  
4.日々の練習と体づくりに全力を注いだ成果もあってか、フォースルーアンド長打力に定評がある  
5.ドラフト会議の中継のため、全国から報道陣が押し寄せた。多くの記者に囲まれ、拍手を貰う

## 梅野さんに聞きました!

### Question & Answer

Q 野球以外の  
気分転換は?

Q キャンパスライフを  
ひとことで例えると?

「かげえる」

小さいころから抱いてきたプロ野球選手という夢をかなえるための4年間でした。体と心を鍛える努力一色の日々でしたが、諦めずに進んできたことを誇りに思います。



図書館のグループ学習室に集まつては、定期的に議論を重ねてきた。



未経験者も多かったプログラミングチームは、経験者の野上さんが指導。

リーダーの中尾さんは、「グローバル・アクティ・ブ・プログラム（GAP）短期集中トライアル」を受けた際、その一環であるオックスフォード大学での英語研修で、海外で学ぶことの意義、英語の重要性を実感しました。「日本ではビジネスで英語の能力を判定するTOEICが重要視されますが、海外留学を考える際には多かったプログラミングチームは、経験者の野上さんが指導。問題を作成することで英語力も上



シンプルで分かりやすいインターフェイスで、観察的学べるのも魅力。

**計画概要**  
海外の大学院を目指す際に必要なTOEFL®を学習するための教材を開発。スマートフォンで使うことを想定し、問題作成からチームのメンバーで手掛けた。上達度に比例してキャラクターが育つなど楽しめるこ

とに配慮した。

### 隙間時間で英語学習 スマートフォンで英語教材開発

—理系分野を中心としたリーディング教材開発—

## PROJECT モバイル・ラーニング「TOEFL Bridge」

代表者 中尾 健人さん（理学部地球圈科学科 3年次生）



写真は前列左から越智裕也さん、古城大地さん、清浦海里さん、代表の中尾健人さん、野上隼太郎さん。そのほか福司山利恵さんはじめ約15人が参加

えるならTOEFL®は欠かせません。ETSの分析結果では、日本人は特にリーディングが弱い。そして教材の種類が少なく価格も高いという問題があります。ならばもっと勉強しやすい方法を自ら作ろうと、このプロジェクトに応募。メンバーは中尾さんをはじめ理系分野の学生が多く、実験やレポートで日々時間に追われていたことから

「隙間の時間でも学習できるようにな」とスマートフォンで学べる教材を開発することにしました。

まずは学内でプログラミングやデザインに強い人を[GAP]で出会った仲間を中心に集め、監修や添削は言語教育研究センターの先生や学外のネーティブスピーカーの方にお願いしました。練習問題はメンバー自らが作成、「問題はメンバーバー自らが作成、問題は350字程度の長文で自然科学发展に特化しています。自分たちの専門分野である知識を生かし、問題を作成することで英語力も上

がりました」と振り返ります。「勉強が楽しく習慣化するようになります」と英語の上達度に合わせてキャラクターが育つ仕組みを作るなど楽しめる工夫も凝らしました。福岡大學生限定のこの教材は、プロジェクト終了後も[GAP]の授業で使われるなど広がりを見せ、発展していきそうです。

## 2013年度 第9回 学生チャレンジプロジェクト

福大生ステップアッププログラム（FSP）の一環として第9回を迎える「学生チャレンジプロジェクト」。学生の皆さんがあなたが自由な発想で企画したアイデアを福岡大学がサポートします。今回採択された4件のメンバーに話を聞きました。



ショッピングはラウンジ「オアシス」に出店し、研究をまとめたポスターも展示。

**計画概要**  
発展途上国で起こっている問題を広く伝え、少しずつでも経済格差をなくしていくためにフェアトレードに挑戦。現地で買い付けた商品を期間限定でオーブンした店内ショッピングで販売。啓発のためのセミナーも2度開催し、周囲の意識を高めることに成功した。

**PROJECT**  
—今すぐできる国際協力とグローバル化の現状を知る—

代表者

赤木 韶亮さん（人文学部教育・臨床心理学科 3年次生）

### 消費するという毎日の行動から途上国の抱える問題を身近に考える

—私たちは先進国と呼ばれる国に生まれ、当たり前のように学ぶ機会を与えられていますが、世界には毎日のお食事もままならず、教育を受けることすらできない子どもたちがいます。講義で、発展途上国における児童労働や子ども兵士という現実を知った赤木さんとメンバーは、自分たちにできることを模索し、そうした諸外国の問題を多くの人に伝えたいとの思いから、学生チャレンジプロジェクトに応募しました。そのプロジェクトの具体的な内容は、途上国の現状を発表する学内セミナーとフェアトレード（労働や商品に対して適正な価格で取引する）ショッピングの開店です。



参加費無料のフェアトレードセミナーは、図書館1階多目的ホールで開催。



タイの女性たちの丁寧な手仕事を実際に体験するメンバーの久末さん。

限定でオープン。来店した学内外の人々にフェアトレードや途上国の問題を分かりやすく伝えながら接客。「途上国の問題を遠い国の知らない誰かの話ではなく、身近の問題でもらうためにこれからもできることを続けていきたい」と語る赤木さんやメンバーのみなさんはいつも熱がこもっています。



PROJECT MEMBER

写真は左から代表の赤木韶亮さん、久末純平さん、そのほか大石一貴さんが参加

## 福大にフェアトレードショップを作ろう

—今すぐできる国際協力とグローバル化の現状を知る—

代表者 赤木 韶亮さん（人文学部教育・臨床心理学科 3年次生）

—今すぐできる国際協力とグローバル化の現状を知る—



週に1度、集まれるメンバーで進捗を報告し合い、仕事の振り分けをした。



ウォッシュバーン大学での看護研修が本プロジェクトのきっかけになった。



福岡大学病院の目につきやすい場所にエスコートのポスターを貼付。

極的に学んでいることでした。  
プロジェクトのきっかけは、メンバーの一部がアメリカウォッシュバーン大学での看護研修に参加したときのこと。人が体調を崩し医療機関で受診することになりました。日本で受けける医療とは流れや仕組みが違つたことも不安を募らせたと言います。古家さんは「看護を学んでいた私たちでも海外

**計画概要**  
福岡に住む外国人が健康問題を抱えたときに活用できるパンフレットを作成し、医療機関での受療をサポートする。福岡大学病院においては外国人の方の外来をチームメンバーでエスコートするほか、同活動の周知も行う。

### 実体験から生まれた企画 外国人のための受療サポート

リーダーの古家さんははじめ、全員が医学部看護学科の学生。1年次生から4年次生まで約15人の正式メンバーと約10人のボランティアで構成されています。メンバーの共通点は、看護学科の国際交流プログラムに参加し、自分たちと異なる国

の文化、言語や習慣、そして医療を積み重ねてきた経験です。古家さんは「看護を学んでいた私たちでも海外

## PROJECT Ask a Nursing Student! Information about health care services in Fukuoka

代表者 古家 伊津香さん（医学部看護学科 3年次生）



PROJECT MEMBER  
代表の古家伊津香さん(写真の前列左から2番目)はじめ、医学部看護学科の学生約15人が参加



イベントの華道生け花体験教室の様子。中学生から大人まで約60人が体験。



イベントの最後は灯明を制作してライトアップ。メンバーで記念撮影。

**計画概要**  
伝統文化に触れる機会に恵まれず、そのため知識も少ない学生に、「和」をテーマにしたイベントを通して日本の伝統文化を知つてもらう。また、イベントに出演・出展する学内外諸団体と横つなぎを作ることも目的とする。

## PROJECT 日本の伝統文化を学ぼう 「和」がテーマのイベントを開催 伝統文化をきっかけに人の「輪」も広がる

代表者 立石 アルファ裕一さん（商学部経営学科 3年次生）

代表の立石さんは海外へ行った際に、自国の文化をうまく語ることができず、もどかしい思いをしたことがあるそうです。そこで「日本の伝統文化をもっと学びたい。他の学生にも日本文化に興味を持つてもらいたい。そのためイベントを開催しよう」と考えました。経済学部の友人が学生チャレンジプロジェクトの2012年度に参加していた

メンバーがまず行ったのは、学内の「和の文化」に関する団体に連絡を取り、企画の趣旨と活動内容の説明、イベントへの協力依頼をする

ことでした。立石さんは各団体の行事や大会と日程が重なり、参加を断られることが。しかし何度も粘り強く交渉して、やっと参加の約束を取り付けたこともあります」。他にも協賛をお願いする企業や和服の着付け指導等を仰ぐため博多織の卸商社を訪問、さらに歴史講座にも積極的に参加し伝統文化への見識を深めていき、そこから人の輪を広げていきました。

メンバーの努力が実り、ついに、2013年9月7日、福岡銀行本店広場で「和でつくる輪」を実現。「WA!!」29団体との「コラボレーション」に成功



PROJECT MEMBER  
代表の立石アルファ裕一さん(写真の後列左から2番目)はじめ、商学部の商学科・経営学科の学生13人が参加



定期的に集合しミーティングを行う。メンバー同士の仲が良く意見交換が盛ん。

し、当日は書道和太鼓のパフォーマンス、少林寺拳法部の演武、浴衣の着付け体験教室、華道生け花体験教室など、多彩な催しを行いました。イベントには300人近く参加があり、大成功でした。今後の展開について尋ねると「百人一首や華道などの学内の文化系団体の展示イベントを企画しています」立石さんはそう語りながら目を輝かせました。

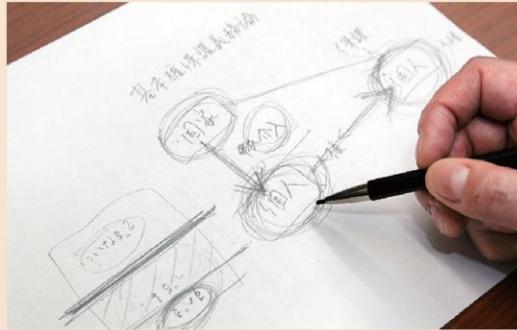
ではこれだけ不便なのだから、日本に住む外国人も問題や不都合を感じているのではないか」と疑問を持ったのが始まりでした」と経緯を説明します。

全都道府県中10番目に外国人が多い福岡県日本語学校やアクロス福岡の「こくさいひろば」の協力を得て調査した結果、福岡在住の外国人には、「コミュニケーションや情報不足など医療への不安があることが分かりました。そこで症状に合わせた診療科の情報や英語対応ができる福岡市内の病院情報を掲載したパンフレットを作成。さらに、福岡大学病院においてはチームメンバー自らが外来患者をエスコート。ゼロからの挑戦で苦労もしましたが、プロジェクト期間終了後も周知活動を含め何らかの形で活動を続けていきたい」と今後の展開にも意欲を見せていました。



最新の著書「人間の尊厳保障の法理」を手に。「ドイツ憲法での議論を元に、実効的人権保障という観点から、現代社会における国家作用の在り方を論じています」と先生。

ゼミでは日常的な人権問題を議論  
「憲法」を身近なものとして学ぶ  
究が進めってきた人権論を中心とした研  
究は昨年「人間の尊厳保障の法理」という一冊  
者者が増えてきています」



「基本権保護義務論」を先生が図に書いて説明してくれた。従来の二者関係から三種関係で考えるこの論理では、憲法が国家に求めることがより大きく複雑になる。



①ドイツで集めたビールのコースターが研究室に飾られている②ドイツで現地の友と語らう先生。「自分の憲法論を再確認できた刺激的な期間でした」③学生時代のバンド仲間の一人、音田哲也氏の著書『レイジ』。先生をモデルにした人物も登場している

になってきていたる理論に「基本権保護義務論」があります」と先生が説明を始めました。「日本の憲法学において人権論は一般的に、個人の権利との関係で構成されています。憲法は、過剰介入の禁止を柱に、国家が個人に対しして介入できる上限を設定して「できる事」「できない事」を大きく二分してきました。「基本権保護義務論」とは、個人と個人が対立している状況下での国家の介入を想定した「三極関係」で考える理論です。この結果、国家が個人の尊厳や権利を保護するためにもう一人の個人に対して「するべき事」が加わります。つまり「できる事」「できない事」「する事」と、人権保障との関係で「国家と社会」の用語を大きく3つに分類される考え方です」と先生が説明を始めました。この論理をより分かりやすくするために、先生はドイツの法学者が提示した仮想事例を挙げて付け加えます。「爆弾を仕掛けた例を挙げて付け加えます。」

心にゼミを行っています。』

研究メモ

自分が広がったドイツへの在外研究

で過ごした。ハイソの生活がとても有意義であったと振り返ります。  
「憲法学の研究の進んだフライブルク大学で一年留学しました。ハイソでは一人が政治や法律に対して意識が高く、学生も授業で積極的に質問するなど、意欲ある学びの姿勢が印象的でした。今はインターネットでさまざまな情報を得ることができます。やはり現地に行き、匂いや音も含め体感することが大事だと思います。皆さんも留学のチャンスがあればぜひチャレンジしてください。きっと自分が広がるはずです。」



先生の研究室にて。「憲法は一つの解釈しか成立たないと思われがちですが実はそうではありません。時代や社会情勢の変化により、憲法はさまざまな意味を求められます。そのような「憲法解釈」の指針を示すとともに、私たち憲法学者の仕事は何ですか？」

**Professor** \_\_\_\_\_  
法学部 教授  
**玉蟲 由樹** Yuki Tamamushi

「人権保障」という観点から、憲法の意義と価値を見つめ直す

## ドイツと日本の憲法を比較し 人権が国家に与える影響を考察

「憲法」は私たちの暮らしを支えている重要な要素です。日本国憲法の原則の一つである「基本的人権の尊重」により日々の生活が守らなければなりません。そのためには、SNS※で当たり前に見かけるのはもちろん、発言ができるのも憲法です。然るのように、表現の自由が保障されているからです。しかし、その足元に、「生きる」ための基本的なルールを定めているのが憲法なのです。本学法学部の玉蟲先生は、「国家と個人との理想関係性」をテーマに「公法」の研究をしていました。先生は「公法」によって、行政法、刑法などもありますが、国家の在り方を定めた最も基本の部分が憲法。その憲法の構造や特色は国により異なります。私は特に、日本での憲法論、憲法解釈の指針となり得ると考えていました。そこで、「ドイツ憲法学」に焦点を当てて、日本での憲法論についても議論してきました。憲法はすでに作られていれば、わざわざそれを譲り受けたもので、議論しても仕方がない時代、ドイツの法学者カーラ・シュミットの論文を読んだことです。「当時の私は、ドイツ憲法だけでなく日本の憲法も遠い存在に感じていました。憲法はすでに作られていれば、わざわざそれを譲り受けたもので、議論しても仕方がない」とする見解を読んで考えが変わりました。

## テロリストに爆弾の隠し場所を聞き出す拷問は許されるか

テロリストに爆弾の隠し場所を  
聞き出す拷問は許されるか

この言葉の解釈はいろいろあると思いますが、憲法そのものを作ることができなくとも、その時の国民の考え方、主張形で憲法に影響をうえているのではないかと考えたのです」と先生は振り返ります。さらに大きなきづかくなつたのが、ドイツ憲法学者の権威である栗城壽夫先生との出会いでした。「大学院院時代、栗城先生の下で学び、憲法学者の研究者になることを決めました。私は当初

# 講義ライブ90分

## 「自然」と「人」の深い関わりを学び 未来につながる個々の自然科学観を培う



### 「自然科学と人間 (人間と自然)」

共通教育科目 総合教養科目

**身近な自然現象の仕組みや  
環境問題を論理的に考える**  
福岡大学では、総合大学の特長を生かした幅広い分野の総合教養科目が編成されています。その柱の一つになる領域が「自然科学」。自然科学は物理学、化学、生物学、地学など多岐にわたる見地から自然現象を検証し、地球や生命についての理解を深める學問です。その中でも「自然科学と人間(人間と自然)」は主に「自然と人間の関わり」がテーマ。人間の生活の中での自然現象問題に焦点を当て、論理的に考える能力を磨きます。

担当の奥野先生は「本授業は、さまざまなる自然科学的図表を示しながら解説していくますが、その事実を基にした学生それぞれの考えには、正解不正解はありません。答えのない分野だからこそ、あります。」

### 授業のポイントでは声を張り 学生たちに強くアピール

135人の学生が出席した第6回目となるこの日の授業は「酸性雨」について。本授業にテキストはなく、毎回配布されるプリントを基に進行します。冒頭は前回の復習。「オゾン層の破壊」を「原子力」から授業が始まりました。 $O_3$ (オゾン)と $O_2$ (酸素)が生成と分解を繰り返しながら、紫外線を吸収していく仕組み、さらにはフロンがオゾンを破壊していく仕組みを化学式に添えた分かりやすい図表を示しながら先生が解説します。

「フロンが原因で作られる塩素原子1個が連鎖反応で10万個のオゾン分子を破壊するといわれています。オゾン層が薄くなつてできるオゾンホールの拡大は現在も重要な問題になっています」と先生。続いて「酸性雨」については、「pH 5.6以下と強い酸性を示す雨のこと」を酸性雨と呼ぶ」という定義から始まり、大気汚染物質の $SO_x$ (硫酸化物)、 $NO_x$ (窒素酸化物)が $H_2SO_4$ と $HNO_3$ に酸化されると、水との反応で $H^+$ と $NO_3^-$ が生成し、酸性雨を作ります。一方で、酸性雨を作る仕組み、そして酸性雨が土壤に溶け出し、植物を枯らす他、ゆくゆくは水を汚染するという問題点をテンボよく、大事なポイントでは声を大にして学生に語り掛けます。「オゾン層破壊」「酸性雨」と、たびたび耳にする環境問題について深く切り込んで授業内容に、学生は真剣にメモを取ります。

あつという間に授業開始から80分が経ち、学生がレポートを書くまでの時間に入りました。レポートのテーマは毎回直前に先生が口頭で発表します。「酸性雨について説明せよ」とこの日

今までの自身の知識と授業内容を結び付けて整理・分析し、しっかりと個々の考えを身に付けてほしい。そのため、毎回授業の最後約10分間は、その日のまとめの文章を書く時間に充てています。与えられた時間で分かりやすく簡潔に書く力は、就職活動、そして社会に出てからのお己表現の能力として重要なことだと思います」と話します。

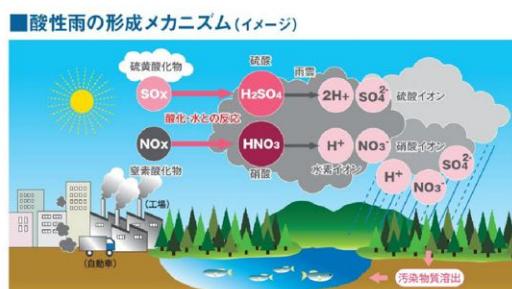
全15回の授業計画の内容は「地球温暖化」「原子力」「温泉などどれも身近なことばかりです。例えれば温泉については、そのぶりと成因に始まり、入浴効果、健康に与える影響についてなど広範囲に学んでいます。さらに「台風」や「インフルエンザ」など学生が興味を持つように、その時期ごとのタイミング的な話題も授業に盛り込んでいくこともポイントだそうですね。

### My teaching style

奥野 充 理学部地球圏科学科 教授  
「混合物ではなく化合物を作ることが大切」つまり、何事も単に合わせるだけでなく、それそれをしっかり結び付けて全く新しい何かを作り出すことが重要だと考えています。本科目においても、授業で学んだこと自分で調べたデータを積み重ね、融合させて、自然・環境問題に対する個々の考え方を持ってほしい。授業最後のレポートを書く時間、家に持ち帰っての復習を含めて「自分なりの答えを出す力」を磨く機会にしてくれれば幸いです。

「自然科学と人間(人間と自然)」は、学部・学年問わず履修できる共通教育科目です。自然界を広く研究する分野「自然科学」の中でも本授業は「自然と人間の関わり」に重点を置き、環境問題を中心に学んでいます。自然科学についての論理的な思考、分析方法を身に付けることを目指し、毎回レポートを書くことで、文章力・自己表現力をも養います。

今までの自身の知識と授業内容を結び付けて整理・分析し、しっかりと個々の考えを身に付けてほしい。そのため、毎回授業の最後約10分間は、その日のまとめの文章を書く時間に充てています。与えられた時間で分かりやすく簡潔に書く力は、就職活動、そして社会に出てからのお己表現の能力として重要なことだと思います」と話します。



自然科学は生涯役立つ學問  
最後のレポート作成も有意義です。

スポーツ科学部スポーツ科学2年次生 長野 祥雄さん

本授業を以前履修した友人の勧めがあったこと、シラバスで調べて内容が面白そうだったことが履修のきっかけです。最初の授業のテーマ「台風」は、その後どう台風が最近ついていたこともあり、興味深かったです。台風予報の見方や、台風、サイクロ、ハリケーンの違いなど、勉強になりました。授業の最後に書いたレポートは毎回大変ですが、少しづつ表現力や構成力などが身に付いている実感があります。

### Students' voice



身近な自然、環境問題がテーマ  
毎回楽しく、学んでいます。

経済学部産業経済学科4年次生 廣瀬 主宇さん

自然現象や環境問題など「何となく知っていたけど詳しくは分からなかった」ということを、深く学べるので毎回楽しみにしています。オゾン層の破壊をはじめ、地球温暖化問題では、フロンによりオゾンが一度破壊されると再生しない、一方通行であることに危機感を感じました。また、南極と北極でオゾンホールの発生の様子が異なる話も印象的でした。



「パーソン、サークル」。サークルに参加し充実した学生生活を送る。そこでは若々しい情熱が燃え、仲間たちとの固い絆が結ばれている。

## 静けさの中で繰り広げられる熱い戦い 白と黒が織りなす23人の青春の盤面



学術文化部会  
囲碁部

活動は火曜と木曜の18時から20時まで。月に1回は部室を飛び出し、懇親会を開き、交流を深める。

体育部会  
レスリング部

西日本トップレベルの精鋭たち  
より強い「攻め」の姿勢で心体を磨く

1日の練習で3分間のスパーリングを約20本行う。筋力強化トレーニング、走り込みも欠かせない。

情熱メッセージ



幹事  
谷口 博亮さん  
(スポーツ科学部  
スポーツ科学科 4年次生)

「2020年東京オリンピック実施競技に残り決定」のニュースが記憶に新しい「レスリング」。福岡大学レスリング部の部員は、全てスポーツ科学部の男子学生で全15人。全身を使って戦う「フリースタイル」を中心に「下半身の攻防を制限し、より技の精度が求められる「グレコローマンスタイル」に挑戦する部員もいます。

西日本の大会で常に上位入賞の強豪チームの基盤を作っているのは圧倒的な練習量。ピクトリーホールで週6日計16時間、さらに朝練習も行つて、という厳しい練習に励んでいます。幹事の谷口さんは「素早く力強いタックルができるようになるためには筋力強化が欠かせません。円形リングを2つ備えた練習場ではロープのぼりや鉄棒でも鍛えられます」と、記念金賞のトレーニング室も利用できるので助かります」と話します。また昨年9月にレスリングの公式ルールが変更されたことにより、各選手とも「攻め」の意識がより強くなっています」と付け加えます。3分2ビリオド制アボントリーアボルで週6日計16時間、さらに朝練習も行つて、「プライベートでも仲が良く、試合前の厳しいアドバイスをして下さるOBにも感謝しています」と谷口さん。当面の目標は「西日本学生春季リーグ戦大会」優勝です。



池松和彦さん(中)、黒崎辰馬さん(左)、井伊普吾さん(右)などコーチ陣がバックアップ。



部室に飾られた数々のトロフィーや盾、賞状が名門レスリング部であることの証。



2013年「西日本学生春季リーグ戦一部」ではチームワークを發揮し団体戦準優勝。

大會一覧

- 4月 ◉ 西日本学生春季リーグ戦大会
- ◉ JOC杯 全日本ジュニアレスリング選手権大会
- 7月 ◉ 西日本新人選手権大会

- 8月 ◉ 全日本学生選手権大会
- 10月 ◉ 西日本学生選手権大会

- 11月 ◉ 内閣総理大臣杯 全日本大学選手権大会
- 12月 ◉ 西日本学生秋季リーグ戦大会

年間行事

- 4月 ◉ 新入生勧誘選手権
- 5月 ◉ 九州学生囲碁連盟 春季リーグ(団体戦)

- 6月 ◉ 学術文化祭
- 7月 ◉ 夏期合宿
- 9月 ◉ 級位者碁会

- 10月 ◉ 九州学生囲碁連盟 秋季リーグ(団体戦)
- 11月 ◉ 七碁祭 出店
- 12月 ◉ 級位者碁会

- 2月 ◉ 春期合宿
- 3月 ◉ 級位者碁会

バチバチ。石を置く音以外には雜音がない。水を打つような静けさの中で、一局一時間以上も続く熱い戦いが繰り広げられます。黒と白が交互に打ち合い碁盤の陣地を奪い合う頭脳と頭脳との一騎打ち。囲碁部の練習は、毎週2回、学年会館の部室と和室で行われます。2人が碁盤に向かって対局練習は集中力を要しますが、それ以外の時間は実に和気あいあいとした雰囲気です。宿舎や学術文化祭七碁祭も部員23人が「丸となつて取り組んでいます。

「入部するまで囲碁のルールすら知らなかつた人も珍しくありません。目標を掲げて、段級位を上げていく競技志向の人もいれば、学業の合間の気分転換として楽しむ人もいます」と笑顔で語る幹事の梯さん。「手三手先を読むことが出来る幹事の梯さん。『手三手先を読むのが得意』と笑顔で語る幹事の梯さん。『手三手先を読むのが得意』といふ一面もありますが、一枚の絵をつくっていく共同作業のよう」という意外な答えが返っていました。囲碁は最初の手の打ち方だけでも36通りあります。対局後の盤面は一つとして同じ形はありません。対局後の盤面は、そんな形を覆す言葉からは、福岡大学囲碁部員の充実した青春の日々、そして囲碁力や絆の深さが伝わってきました。



やまなみ荘で行った2泊3日の夏期合宿。部員は、1年次生から4年次生までおり、22人の男子学生と紅一点。



部員は、1年次生から4年次生までおり、22人の男子学生と紅一点。



学術文化祭で一般の方に披露した冊子。囲碁を扱う漫画や小説を紹介した。

言葉を紡いで、想いを伝える。  
広告という時代の鏡に、  
人の気持ちという永遠を映す。

始まりは17歳。それから約30年。約余曲折  
はあっても、コピーライターという仕事へ  
の真っすぐな情熱でつながっていた、一本  
の道でした。

その後、高校を卒業し、大学進学、就職とい  
うステップを踏みますが、「今に至るまで、コ  
ピーライター以外の職業に就こうなんてこ  
れっぽつとも考えたことがない」と門田さんは  
ほほ笑み交じりに話します。

福岡でもコピーライターを養成する講座が  
開かれ、17歳の門田さんも通いました。講座は  
土曜の午後、学校が終わるやいなや電車に飛  
び乗り、学生服のまま教室に駆け込んでいた  
そうです。最年少ながら誰よりも熱心に課題  
に取り組む門田さんは、講師や仲間から注目  
される存在に。通常1回受講すれば修了する  
講座を7回も受講し、講師や事務局から「もう  
来なくていい」と言われるほどだったとか。門  
田さんはこの講座を通して広告制作の過程  
や、コピーライティングの楽しさにすっかり魅  
了されていました。

福岡でもコピーライターを養成する講座が  
開かれ、17歳の門田さんも通いました。講座は  
土曜の午後、学校が終わるやいなや電車に飛  
び乗り、学生服のまま教室に駆け込んでいた  
そうです。最年少ながら誰よりも熱心に課題  
に取り組む門田さんは、講師や仲間から注目  
される存在に。通常1回受講すれば修了する  
講座を7回も受講し、講師や事務局から「もう  
来なくていい」と言われるほどだったとか。門  
田さんはこの講座を通して広告制作の過程  
や、コピーライティングの楽しさにすっかり魅  
了されていました。

## コピーライターという 夢を見つけた高校時代

小さいころから文章を書くことが好きで、

作文の賞を受賞することもあった門田さん。

子どもながらに言葉や文章を「生業」にして生き

ていこうと考えていました。新聞記者を夢見

たこともありました。が、高校生になつたころ、

糸井重里、伸畠貴志などが社会の注目を浴び、

コピーライターブームが起ります。たつた1

行の言葉が日本中を駆け巡つて人の心を捕さ

ぶり、商業施設や新商品を大ヒットさせること

も珍しくありませんでした。才能とアイデア

だけで勝負できるコピーライターは、当時の若

者たちにとり憧れの職業の一つだったのです。

福岡でもコピーライターを養成する講座が

開かれ、17歳の門田さんも通いました。講座は

土曜の午後、学校が終わるやいなや電車に飛

び乗り、学生服のまま教室に駆け込んでいた

そうです。最年少ながら誰よりも熱心に課題

に取り組む門田さんは、講師や仲間から注目

される存在に。通常1回受講すれば修了する

講座を7回も受講し、講師や事務局から「もう

来なくていい」と言われるほどだったとか。門

田さんはこの講座を通して広告制作の過程

や、コピーライティングの楽しさにすっかり魅

了されていました。

その後、高校を卒業し、大学進学、就職とい

うステップを踏みますが、「今に至るまで、コ

ピーライター以外の職業に就こうなんてこ

れっぽつとも考えたことがない」と門田さんは  
ほほ笑み交じりに話します。

福岡のスタジオでテレビCMの編集中。30代の

ころからかぶるようになったチューリップ型の

帽子は、今や門田さんのトレードマークとなって

いる。コレクションは160個もあるとか。



## 時代を駆ける先輩たち

から以前に比べて、仕事をする環境が大きく変わったということはあります。したがって岡田さん、「コピー・ライティング」という視点で見れば、頼れる先輩方と一緒に、有望な後輩に恵まれた、とてもいい環境でした。全国的にも福岡のコピー業界で評価されて、ある意味「黄金時代」だったと言つてもいいかもしません。

もう一つ上の頂を目指す  
2004年再び上京



宣伝会議コピーライター養成講座の福岡教室で講義する様子。福大生も複数通っているそう。

福岡に戻り、今度は  
講座で若手を教える

くれません。自分のコピーが不採用になった場合にその理由を教えてもらうこともありますでした。ただひたすらに師匠の背中を見て学び、自分の存在を認めてもらえるチャンスを逃さず、力を出し切る「仲間広告制作所」は3年で卒業するのが暗黙のルール。『留学』とからかわれることもあるそうです。門田さんも約3年で「卒業」し、次のステップに進みました。

同じところ、門田さんは養成講座の講師も務めるようになりました。年齢を重ねたこともあり、東京で得た経験や知識を生かして、自分が福岡を引っ張ついていくうという気持ちからです。

「自分に戻る瞬間もありました。将来に出しゃる若者たちとコビーライターについて、つい心の中に現れました。将来に出しゃる若者たちと一緒に語り合いで、今まで書を読み交わす時間も刺激的で、楽しかった。この講座の教え子たちの多くが今は、流のコビーライターに育っています」門田さんはとても柔らかく

今でも仲のいい片多ゼミの仲間たちと天神で。  
後方で頭1つ出ているのが門田さん。

大学2年次生になると、コーライターのアルバイトを始めました。「コーライター養成講座の講師陣が、暇ならちょっと手伝つてみるか」と声を掛けられて長く商売を営む商店街の人たちへのインタビュート体験は今の仕事につながる貴重な財産になつてゐるそうです。

**福大の恩師に背中を押されて**  
好きなことはとどんやれ  
高校3年生のころには「将来はコピー  
ライターになる」と決めていた門田さん。  
大学進学に当たり、コピーや広告の仕事  
に役立つぞうな学部専攻を探しました。  
そして選んだのは、福岡大学の人文学部  
文化学科マスコミについて学ぶ科目が  
履修でき「フィールドワークを通して学  
べる文化人類学」があったからです。在  
学中の思い出を尋ねると個性豊かで変  
わった同窓が多くて。後にパイロットや  
カメラマンなど専門職に就いた友人を多く  
り、その夢をかなえるため大学の時から  
頑張っていた彼らに刺激をもらっていました  
。印象に残っている授業は一片多順  
教授の「ファイルドワークゼミ」。例えば7

肩書に二七  
テヘタ

大学卒業後は、養成講座の講師の後押  
しもあり、地元の広告代理店に就職。ホテ  
ルや水族館など、福岡の人にはなじみの  
深い施設の「コピー」を書いていました。「初  
めて『コピーライター』と書かれた自分の  
名刺を手にしたときの感動は忘れられま  
せん。朝から晩までコピーに向き合える  
毎日が本当に当たっていました。会社員として  
就職したというよりは、コピー専門の師匠の  
下に弟子入りしたという感覚で近づかっ  
たかもしれません」と門田さんは当時を振り  
返ります。

A photograph showing a stack of papers with Japanese calligraphy samples. One prominent sample features the character '愛' (ai, love) in red ink. Several brush pens are resting on top of the stack, illustrating the tools used in the practice of calligraphy.

10年以上、ノートは決まって大学ノート、スケジュールも打ち合わせの内容もアイデアもコピーもこの中に詰まっている。

り返ります。

高校時代に日本中を沸かせたコピーライターはや落ちつき始めたのですが、福岡のコピーライター業界ちょうどこの時期、かつてない盛り上がりを見せていました。東京に比べて、予算やスタッフの数が少ない福岡はアイデアやコピーで勝負する仕事が多いため、米コピーライターにとって活躍しやす

話がかかるつきました。まだ携帯電話がなかった時代です。総務部から内線電話で「ナカハタさん、どちらをお電話です」と告げられ、「誰だろう」と首をかしげて電話器を取ると、電話の相手は高校時代から懐れ続けた仲畑貴志さんだったので、「今夜空いてるか」と聞かれ、「二軒目の店でう飲みにいったところ」の二軒目の店で、「うちの会社に来ないか」と誘われました。(一)

### ▶ 門田陽さんの名作コピー集



- 付たから人へ、におわない。  
(TOTO: 1994年TCO新人賞)
- 好きな服の日は、ゆっくり帰る。  
(マツダレディス: 1997年TCO審査委員長賞)
- 変わらう。変わらないために。  
(ヨタカラコロ: 2007年)
- 人は水で動く。  
(サンリーグ: 2009年)
- 誰かが教わなくなるとも、人は人を好きになる。  
(西武百貨店: 2010年FCC賞)
- お酒が好きな理由を聞かれてわからん。  
(東急百貨店: 2014年FCC賞)

在学生へのメッセージ

17歳で灯り、福岡大学で大きな炎となつた仕事への情熱。その熱さの「終(つい)」の行方をほんの少し、コピーのようないい言葉で指し示してくれました。

め「弟子仲間」が3人。コピーに行き詰まつたら野球を楽しみ、仕事をもプライベートも一生懸命打ち込んだ濃密な時間だったそうです。門田さんはより7歳も年下の仲間いましたが、コピーの仕事は年齢やキャリアに関係なく、面白いアイデアを出した者が勝ち、公平なライバーや関係者に、門田さんは全身全霊を振り出すために、門田さんは全身全霊を振り絞りました。「弟子とはいって、学校と違い、絞りました」。門田さんは、コピーの書き方を教えては

28歳で「コピーライターの神様」とあがめられる仲畑貴志さんの会社へ。「仲畑広告制作所」に在籍した3年間は、徹夜で多くのコピーも毎日のように書かなければならず、心身共にハードな毎日でした。しかし、毎日身一人の下で働くわけですから、毎日アドレナリンが出ているような「幸せな緊張状態」です。会社には門田さんを含め

濃密な時間を過ごす

電話がかかるつきました。まだ携帯電話がなかった時代です。『あなたは、もうお電話で話すのではありませんよ』と首をかしげて受け取られ、「誰だろう」と首をかしげて受け取ると電話の相手は高校時代から懐かしい仲間でした。仲間貴志さんだったのです。『今夜、空いてるか?』と聞かれ、二つ返事で飲みにいったところ、2軒目の店で「うちの会社に来ないか」と誘われました。二話器を取ると電話の相手は高校時代から懐かしい仲間貴志さんでした。月野田さんと一緒に帰りました。その後には東京で働き始めた門田さんと一緒に帰りました。門田さんは、長崎さんによく言っていたように、もう舞い上がって、考えるのは、もう駄目だ、と決して思っていませんでした。

# 就活メモリー

① INFORMATION  
就職・進路支援センター  
からのお知らせ

平成27年3月卒業予定者対象  
「学内合同企業説明会」  
「学内個別企業説明会」  
の案内です。

下記のとおり学内において、  
合同企業説明会ならびに個別  
企業説明会を開催します。

いずれの企業も本学学生の採用に  
積極的であり、学内で多くの企業の企  
業情報や採用情報を入手できる絶好の  
チャンスです。奮って参加して今後の  
就職活動に役立てください。

参加企業や開催日時、会場、申し込  
み方法等の詳細については、FUポー  
タルや掲示、就職・進路支援センターの  
ウェブサイトに掲載していますので、  
確認してください。

## 合同企業説明会

- 開催期間・参加企業数・会場
  - ① 1月28日(火)  
約50社  
第二記念会堂
  - ② 3月11日(火)~12日(水)  
各日22社  
文系センター棟1階「プラザ50」

## 個別企業説明会

- 開催期間・参加企業数
  - ① 1月29日(水)~2月28日(金)  
1日8社予定  
※2月3日(月)~2月10日(月)の入試期間は除く
  - ② 3月3日(月)~随時  
1日5社予定  
※3月11日(火)~3月12日(水)は1日2社予定
- 会場/学内の教室

就職・進路支援センターでは、あらゆる就職進路に関する相談に、専任のスタッフをはじめキャリアカウンセラーや進路相談員（就職アドバイザー）が応じています。気軽にご相談ください。

## 支援行事

支援行事日程や詳細について  
は、FUポータルや学内掲示、就  
職・進路支援センターのウェブサ  
イト・Facebookをご覧ください。

先輩たちのあの日、あの時。そのリアルな経験を在学生の皆さんに。



今後の目標は総合旅行業務取扱管理者の資格を取ること。そして、全国規模のイベントを実現すること。福岡で大きなイベントを開催し、さらにそれを目玉にした団体旅行プランを立案する夢の人を集めて、もっと福岡を元気にしたいです」と自信を輝かせています。

## 就活アドバイス

「面接慣れ」をしておこう  
面接は慣れです。多くの場数を踏んでください。面接では自分を取り繕わなくていい自然体。あるいはそのまま受け入れてくれる会社の方が入り難いことが多いですが、まずは自分の性格が同じような質問も多いので、作成量をこなすと書くスピードも速くなり内容の精度も上がりります。

4年次冬 現地で英語を話すと、学科の仲間たちとオーストラリアへ卒業旅行。最高の思い出。

採用不採用はエントリーシートの印象で左右されることがある  
英語をもっと勉強したい」と、本学の英語学科に進学した武市さん。1年次生からTOEICに挑戦し、大学卒業まで継続し795点というスコアをマーク。英語への自信を高め、将来はこのスキルを生かせる仕事を希望するようになります。また在学中のアルバイトを通して接客の面白さに目覚め、直接お客様と向き合える仕事がしたいとも考えるように。就職活動の

企業や学校などの団体に向けてソニーの企画提案から添乗・実施までを担当している武市さん。企画した団体旅行に添乗員として同行することもあるそうです。「東京、オランダ、ハワイ、済州島など国内外問わず1年に5~6回は添乗します。このようないい団体旅行では感謝の手紙や手紙を送つてくださるお客様もいらっしゃいます」。最近のソニーは数社競合のことが多く、勝ち取るために社内コミュニケーションが欠かせないそうです。観合の際は特に見積書作成で力がかかるのです。が、ホテルや航空券の仕入れをしている社内の部署に相談し、金額をどこまで抑えることができるか調整するのも私の仕事です」と武市さん。やりがいを尋ねると「競合に勝ったとき。そして、その仕事が2回目以降も継続して発注があったときです」と力強い言葉が返ってきました。

採用不採用はエントリーシートの印象で左右されることある  
英語をもっと勉強したい」と、本学の英語学科に進学した武市さん。1年次生からTOEICに挑戦し、大学卒業まで継続し795点というスコアをマーク。英語への自信を高め、将来はこのスキルを生かせる仕事を希望するようになります。また在学中のアルバイトを通して接客の面白さに目覚め、直接お客様と向き合える仕事がしたいとも考えるように。就職活動の



株式会社 阪急交通社  
人文学部英語学科 2010年卒業  
武市 勇太さん

ツアープランを企画立案実施  
年に数回は団体旅行にも添乗  
企業や学校などの団体に向けてソニーの企画提案から添乗・実施までを担当している武市さん。企画した団体旅行に添乗員として同行することもあるそうです。「東京、オランダ、ハワイ、済州島など国内外問わず1年に5~6回は添乗します。このようないい団体旅行では感謝の手紙や手紙を送つてくださるお客様もいらっしゃいます」。最近のソニーは数社競合のことが多く、勝ち取るために社内コミュニケーションが欠かせないそうです。観合の際は特に見積書作成で力がかかるのです。が、ホテルや航空券の仕入れをしている社内の部署に相談し、金額をどこまで抑えることができるか調整するのも私の仕事です」と武市さん。やりがいを尋ねると「競合に勝ったとき。そして、その仕事が2回目以降も継続して発注があったときです」と力強い言葉が返ってきました。

採用不採用はエントリーシートの印象で左右されることある  
英語をもっと勉強したい」と、本学の英語学科に進学した武市さん。1年次生からTOEICに挑戦し、大学卒業まで継続し795点というスコアをマーク。英語への自信を高め、将来はこのスキルを生かせる仕事を希望するようになります。また在学中のアルバイトを通して接客の面白さに目覚め、直接お客様と向き合える仕事がしたいとも考えるように。就職活動の



「面接慣れ」をしておこう  
面接は慣れです。多くの場数を踏んでください。面接では自分を取り繕わなくていい自然体。あるいはそのまま受け入れてくれる会社の方が入り難いことが多いですが、まずは自分の性格が同じような質問も多いので、作成量をこなすと書くスピードも速くなり内容の精度も上がりります。

## 就活アドバイス

「面接慣れ」をしておこう  
面接は慣れです。多くの場数を踏んでください。面接では自分を取り繕わなくていい自然体。あるいはそのまま受け入れてくれる会社の方が入り難いことが多いですが、まずは自分の性格が同じような質問も多いので、作成量をこなすと書くスピードも速くなり内容の精度も上がりります。

大学院2年次 福岡大学病院の採用試験。「研究と臨床の両面で頑張りたい」と熱意を伝え内定を得る。

4年次 国家試験の1週間前まで実験に明け暮れた研究漬けの1年間。大学院への進学を決意し、推薦で合格。

2年次春 薬品を使った実験が始まると、薬学部生としての実感が湧く。

就活アドバイス  
意味があり就職に役立つ  
患者さんの生死に向き合う  
救命救急の薬剤師として  
どうな困難や試験にも  
立てるのかと胸が熱くなります。これからも臨床薬剤師としてできるところを増やすことをもっと増やすことを目指すといきたいと仕事を諒解してもらいました。



福岡大学病院 薬剤部  
薬学部薬学科 2009年卒業  
薬学研究科博士課程前期 2011年修了  
中野 貴文さん

ツアープランを企画立案実施  
年に数回は団体旅行にも添乗  
企業や学校などの団体に向けてソニーの企画提案から添乗・実施までを担当している武市さん。企画した団体旅行に添乗員として同行することもあるそうです。「東京、オランダ、ハワイ、済州島など国内外問わず1年に5~6回は添乗します。このようないい団体旅行では感謝の手紙や手紙を送つてくださるお客様もいらっしゃいます」。最近のソニーは数社競合のことが多く、勝ち取るために社内コミュニケーションが欠かせないそうです。観合の際は特に見積書作成で力がかかるのです。が、ホテルや航空券の仕入れをしている社内の部署に相談し、金額をどこまで抑えることができるか調整するのも私の仕事です」と武市さん。やりがいを尋ねると「競合に勝ったとき。そして、その仕事が2回目以降も継続して発注があったときです」と力強い言葉が返ってきました。

採用不採用はエントリーシートの印象で左右されることある  
英語をもっと勉強したい」と、本学の英語学科に進学した武市さん。1年次生からTOEICに挑戦し、大学卒業まで継続し795点というスコアをマーク。英語への自信を高め、将来はこのスキルを生かせる仕事を希望するようになります。また在学中のアルバイトを通して接客の面白さに目覚め、直接お客様と向き合える仕事がしたいとも考えるように。就職活動の

臨床経験を研究に生かす  
研究知識を臨床に生かす  
福岡大学だからこそ実現できた  
臨床薬剤師と博士課程の両立

臨床経験を研究に生かす  
研究知識を臨床に生かす  
福岡大学だからこそ実現できた  
臨床薬剤師と博士課程の両立

臨床の現場で得た経験を研究に生かす  
研究で得た知識を臨床に生かせば、  
もつと患者さんの役立つことができます。  
そんな「臨床と研究の懸け橋」にな  
る機会に恵まれている」と病院の薬剤師と  
いう連絡に憧れ就職活動を始めました。

病院への就職活動について、中野さんは  
さらに薬学部を有する大学を目指してい  
た中野さんは、希望にかなった福岡大学に  
入学。当時の薬学部は4年制でしたが、そ  
の3年次生時に研究室で出会った岩崎  
先生や三島先生、そしてハーバード大学に  
志しました。大学院に入学してからは脳梗  
塞の研究を進め、精力的に論文を書いては  
学んでいました。そんな中野さんの転  
機は、大学院1年次生の病院実習で臨床の  
現場を体験したことです。臨床薬剤師の  
知識と実践力、臨床で患者さんとの接  
触を狭め、「さまざまな業種にエントリー  
して経験を積む作戦に出ました。これが功  
を奏したのか、本命だった「旅行代理店」の  
阪急交通社の内定を獲得。そんな武市さ  
んの就職活動最大の武器はエントリーチ  
ャートだったのです。『就職・進路支援セン  
ターの方に添削していただきながら、毎  
日改つり書きました。字を間違えない、  
きれいに書く』というは基本。その上で、  
強調したい文を太字にしてしまった。

実は武市さん、今年度は自社の面接担  
当者を体験。「数百人のエントリーシー  
トに添削していただきながら、毎日改つり  
書きつり書きました。字を間違わない、  
きれいに書く』というは基本。その上で、  
強調したい文を太字にしてしまった。

4年次 大学院2年次 福岡大学病院の採用試験。「研究と臨床の両面で頑張りたい」と熱意を伝え内定を得る。

2年次春 研究室で指導を受けた岩崎先生や三島先生、そして海外留学をした先輩に刺激を受け、研究の道を志す。

1年次 1年次夏 実習3ヵ月間、福岡徳洲会病院にて。大学院で脳梗塞の研究を進める一方、臨床薬剤師の魅力に目覚める。

就活アドバイス  
意味があり就職に役立つ  
患者さんの生死に向き合う  
救命救急の薬剤師として  
どうな困難や試験にも  
立てるのかと胸が熱くなります。これからも臨床薬剤師としてできるところを増やすことを目指すといきたいと仕事を諒解してもらいました。



福岡大学病院 薬剤部  
薬学部薬学科 2009年卒業  
薬学研究科博士課程前期 2011年修了  
中野 貴文さん

臨床の現場で得た経験を研究に生かす  
研究で得た知識を臨床に生かせば、  
もつと患者さんの役立つことができます。  
そんな「臨床と研究の懸け橋」にな  
る機会に恵まれている」と病院の薬剤師と  
いう連絡に憧れ就職活動を始めました。

病院への就職活動について、中野さんは  
さらに薬学部を有する大学を目指してい  
た中野さんは、希望にかなった福岡大学に  
入学。当時の薬学部は4年制でしたが、そ  
の3年次生時に研究室で出会った岩崎  
先生や三島先生、そしてハーバード大学に  
志しました。大学院に入学してからは脳梗  
塞の研究を進め、精力的に論文を書いては  
学んでいました。そんな中野さんの転  
機は、大学院1年次生の病院実習で臨床の  
現場を体験したことです。臨床薬剤師の  
知識と実践力、臨床で患者さんとの接  
触を狭め、「さまざまな業種にエントリー  
して経験を積む作戦に出ました。これが功  
を奏したのか、本命だった「旅行代理店」の  
阪急交通社の内定を獲得。そんな武市さ  
んの就職活動最大の武器はエントリーチ  
ャートだったのです。『就職・進路支援セン  
ターの方に添削していただきながら、毎  
日改つり書きました。字を間違えない、  
きれいに書く』というは基本。その上で、  
強調したい文を太字にしてしまった。

実は武市さん、今年度は自社の面接担  
当者を体験。「数百人のエントリーシー  
トに添削していただきながら、毎日改つり  
書きつり書きました。字を間違わない、  
きれいに書く』というは基本。その上で、  
強調したい文を太字にしてしまった。



**がんにもっと向かい合うための  
地域でのテーアメイドな医療**  
現在、年間約70万人が新たにがんと診断さ  
れているといわれています。そのうち半数は

多いのか、特に罹患数(新たにがんと診断された数)は正確なもののがありません。今はそのデータを蓄積している段階です。登録者がどのような治療を受けて、数年後どうなっているのか、そういうデータが蓄積されていき、いずれは地域に合わせたがん医療政策が行えるようになります」と田村先生は将来への展望を説明してくれました。

### 多職種の医療スタッフによる キヤンサーボードを実施

腫瘍センターでは、月1回、患者さんの病態に応じた適切ながん治療を提供できるよう、キヤンサーボードを実施しています。これは手術・放射線療法・化学療法に携わる専門的な知識や技能を有する医師などが、がんの症状・状態および治療方針などの情報を共有し、検討・確認するための検討会です。例えばテーマが乳がんなら、外科・内科・放射線科・小児科・乳腺科の医師・薬剤師・看護師など多職種のスタッフが集まり、手術例を提出して情報を共有し、患者さんの治療方針を決めます。「特に高齢のがん患者さんの場合、さまざまな合併症を持つているケースが多く、治療すべきことが幾つもあるため、1人の医師では対応が難しい。安全で効果的で効率のよい医療を患者さんに提供するためには、多職種が連携した医療体制を整えるためのキヤンサーボードが不可欠なのです」と、田村先生はその重要性を強調しました。



①月1回行うキヤンサーボード。がん治療に関わる医師と薬剤師、看護師など多職種が集まり、情報を共有し患者さんの治療方針を決める②放射線治療装置(リニアック)による治療③がん相談支援部門の「がん相談室」。腫瘍内科医やがん看護専門看護師が相談に乗る④毎月1回行う一般市民向けの講座「がんセミナー」。毎回50人以上、多いときは100人前後が参加する

### TOPICS

#### がんに関する情報を広く集めた 「がん情報サロン図書室」

がん情報部門の中の「がん相談支援部門」では、患者さんやそのご家族をサポートするために、さまざまな取り組みを行っています。腫瘍センター内に設けた「がん情報サロン図書室」には、談話室とがんに関する本をそろえた図書室があり、がんの通院患者さんや付き添いの方が受診の待ち時間に利用できるようになっています。ここではボランティアが図書の整理、新聞のがんの記事を切り抜いてファイリングなどをしています。また、2012年からがん治療の副作用で脱毛が気になる方のためにタオル帽子を作り患者さんに無料配布したところ好評で、昨年8月には患者さんを交え、作り方の講習会も開きました。患者さんの闘病生活の少しでも支えになるよう、看護スタッフとボランティアが一丸となって支援しています。



腫瘍センター内の「外来化学療法センター」では、抗がん剤治療が専門の腫瘍内科医、がん化学療法認定看護師、薬剤師が協力し、外来患者の抗がん薬治療を安全かつ適正に行う。入院せずに通院でがん治療を行えるが、医療スタッフが患者さんを観察できる時間は短くなるため、綿密なカンファレンスが欠かせない。

### 福岡大学病院 腫瘍センター長 田村 和夫 教授

地域のがん患者さんの治療とケアのために各分野の専門家たちが集結した「腫瘍センター」

(福岡大学病院長)

**地域のがん患者さんをサポートする万全の体制**

福岡大学病院の「腫瘍センター」は、がんと闘う患者さんやその家族、地域のがん医療スタッフ一丸となってサポートすることを目的に2007年に設立されました。翌年に厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」の認可を受け、2011年には本館改装により1階南側に全ての部門を集約。このニューアルにより、がん患者さんは外来受付、採血など必要な手続きや検査・手術以外の治療のほぼ全てを一ヵ所で受けられるようになりました。

腫瘍センターは「化学療法部門」「緩和医療部門」「放射線治療部門」「がん情報部門」の4部門に分かれています。

「化学療法部門」では専門スタッフによるカンファレンスが毎週行われ、患者さん一人一人に応じた抗がん剤治療を行います。

「緩和医療部門」は病気・治療による痛み不安を軽減する目的で活動しています。医師・緩和ケア認定看護師・薬剤師や臨床心理士などが協力し、毎週1回、検討会や回診を行っています。

「緩和医療」というと終末期医療のイメージがありますが、これからはがんと診断されたときから積極的に介入していく早い段階から緩和的介入をすることで患者さんの気持ちが和らぎ、治療にも良い効果をもたらすはずです」と腫瘍センター長の田村先生は語ります。

「放射線治療部門」は高精度度の放射線治療を行い、腫瘍を効果的に安全に治療する部門です。放射線のエネルギーが高く、体の深部の治療も行える放射線治療装置(リニアック)が2台、小さな線源を病巣内に送り込んで治療する高線量率RALSシステムが1台導入されています。また、強度変調放射線治療(IMRT)、画像誘導放射線治療(IGRT)などの最先端の放射線治療も行っています。この部門には、放射線治療専門医、診療放射線技師、医学物理士、看護師を配置し、放射線治療のスペシャリストの育成にも力を入れています。

「がん情報部門」は、がん相談、がんセミナー、がん地域連携、院内がん登録など活動は多岐にわたっています。「一般には見えない部分で重要な役目を果たしているのが院内がん登録です。実は日本全国、地域性



「がん治療は一人の患者さんを医師・看護師・薬剤師など多職種のスタッフによってケア・治療していかなければなりません」と田村先生。

# ココロとカラダ



食事の後に話しているとき、朝起きたときに気になる「口臭」。その予防のために、まず原因を知り効果的な方法を見つけること。今回は普段の暮らしの中でできる、爽やかな息のつくり方をご紹介します。

## 口臭の原因をしつかり把握して爽やかな息をつくりましょう

### 人間関係にも影響する課題特に若い世代は口臭に過敏

息をしたり誰かと話をしたりするときに出る口からの息が、他人や自分にとって「悪臭」と感じられる場合、それを「口臭と呼びます。

口臭は特に若い世代にとって大きな悩みの種。話し相手が鼻に手をやつただけで自分の口臭のせいと思いつぶむ人、子どものころに「口が臭い」と一度だけ言われたことを大人になつてもずっと気にしている人。自分が気にするほど他人には分からぬものなのに、多くの人が過敏に反応してしまいます。スマートなコミュニケーションづくりも大きく影響するデリケートな問題です。

1999年の厚生省現厚生労働省の調査によると、15歳以上の日本人の15%は「口臭に悩んでいます」と報告されています。女性が歯磨きをする理由は、虫歯予防より「口臭予防のため」とさえいわれています。最近では「自己臭症」といつて「口臭に過敏な人が増えており、成人の1割は「自己臭症」といわれています。口臭過敏にならなくて済むよう、「

### 一時的なものによる生理的口臭細菌などの働きによる口氣悪臭

口臭は誰もが持つ「生理的口臭」とその範囲を超えた「口氣悪臭」に分けられます。口の中は雑菌が飛び回る、つまり「口臭も抑えられていません。しかし、起床時や空腹時は唾液の分泌量が減っていますので、唾液力が低下して一時的に口臭が強く感じられます。これが「生理的口臭」です。

一方、「口氣悪臭」の原因是口の中に住む細菌の働きです。細菌は、古くなつた粘膜、細菌の死骸、血球成分などを常に分解しています。そのため揮発性硫黄化合物(VSC)と呼ばれる卵が腐ったような臭いのガスを発生させているのです。VSCの発生部位は舌の表面に付着している舌苔と歯周病に侵されている歯肉であるといわれています。この他にも、呼吸器疾患、糖尿病や腎不全など全身疾患が原因で口臭が発生することがあります。

### 口臭セルフチェックの方法

口の前に手をかざして息を吐き、臭いを嗅ぐ方法では吐いた息がそのまま嗅覚を刺激し、口臭を強く感じてしまいます。口臭をチェックするときは、きれいなコップを水平に持ち、その中に軽く息を吐き、2~3秒おいてから鼻を近づける方法がお勧めです。

\*もっと正確に知りたい場合は、歯科で機器を使って測定を。



【監修】医学部看護学科 吉川 千鶴子 講師(専門:基礎看護学)

臨床で約7年、がん看護に携わっていましたが、抗がん剤を使っている患者さんが口内炎に苦しみ、治療が受けられない姿を目の当たりにしました。「目の前にいる患者さんが困っていることを何とかしたい」という使命感で、セビメリソウ(がんそく)液を薬剤師に作ってアドバイスするなど、患者さんと向合っています。

### 口臭を引き起こす大きな鍵の一つは唾液量

#### 大きな鍵の一つは唾液量

つくることです。

(1)歯磨きで口腔を衛生的な環境に保つ。睡眠中は細菌が繁殖しやすくなるので、寝る前の歯磨きが大事。歯ブラシはヘッドの長さが1~5cm以下、3列以内で植毛されているナイロン製がお勧めです。

(2)口中でぐるりと舌を動かし唾液腺を刺激する唾液の分泌がよくなり、口臭を発生させる微生物を洗い流します。

(3)布を指に巻いて、舌の奥の方から舌先に向けて軽くこする。起床後の歯磨きのときに行うのが効果的です。市販の舌ブラシやクリーナーを使うてもいいでしょう。強こすると味を感じる味蕾細胞を傷つけるので注意しましょう。

(4)水でうがいをする。喉を洗い流すガラガラうがいに加え、頬を膨らませて口全体に行き渡らせるブクブクうがいをします。

(5)普段の食事でよくかみ、唾液分泌を促す。1回30回以上かむことを心掛けましょう。

。

(6)バナナ・ブルーベリーを食べ、緑茶を飲む。バナナ・ブルーベリーにはタンパク質分解酵素が含まれているので舌苔が剥がれやすいとか。また、緑茶の成分であるカテキンは消臭効果があるとも。

### 効果的な口臭予防法



耳下腺を刺激して唾液の分泌を促す方法。親指を除いた4本の指を頬に当て、上の奥歯の辺りを後ろから前へ向かって10回ほど回してマッサージする。



▲唾液の抗酸化力(還元力)測定機器。患者さんに口腔ケアを指導し、唾液の状態が良くなったかを調べる。

来てみて 話して こころの整理

## ヒューマン ディベロップメント センターのご案内

(HDセンター:学生相談室)

ヒューマンディベロップメントセンターでは、春季休暇中も、カウンセラーが皆さんとの相談を受け付けています。春休みの過ごし方を考えたい、卒業を前に気持ちの整理をしたいなど、どんな相談でも結構です。一人で悩まずに、一度来てみませんか?

相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。

### 相談時間

月・水・金 / 9:30~16:00  
火・木 / 9:30~18:40

### 場所

学生部事務室棟3階  
(1階に学生課のある建物)  
○本学学生のことであれば、ご家族・教職員の皆さまからのご相談もお受けしています。

相談などは  
無料・予約制  
です。

### 予約・お問い合わせ

092-871-6631(代)(内線2630)

※お電話は平日の16:30までにお願いします。

HDセンターのウェブサイトもご覧ください  
(http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm)

### 春季セミナーのお知らせ

春休み期間中、以下のグループ・セミナーを実施しています。どの学年の方でも参加できますので、関心のある方は、気軽に問い合わせてください(参加費は無料です)。

#### ●社会で役立つ人間関係スキルセミナー

- 3月10日(月) 12:40~16:00 対人関係編
- 3月13日(木) 12:40~16:00 社会活動編
- 講師:人文学部教授 皿田洋子
- 担当カウンセラー:屋宮公子

#### ●自分を魅せるためのパフォーマンスリラックス法と自己演出法

- 3月18日(火) 10:00~16:00
- 担当カウンセラー:松尾公孝

#### ●なりたい自分探しセミナー

- 3月17日(月) 12:40~16:00 自己理解編
- 3月24日(月) 12:40~16:00 職業探求編
- 協力:就職・進路支援センター
- 担当カウンセラー:屋宮公子

#### ●自分らしい表現講座

- 3月20日(木) 12:40~16:00 考え方編
- 3月27日(木) 12:40~16:00 練習編
- 担当カウンセラー:屋宮公子

★参加希望の方は、事前に予約してください。

# 「福岡市城南区の歴史を歩く」

地域の歴史を知り  
地域への愛着を深める

街の歴史遺産に光を当て

郷土愛を呼び起こす講座

福岡市がある城南区には重要な遺跡や文

化財が数多くあります。しかし専門家による調査を実施して歴史遺産、観生活などを発見する取り組みが計画されません。それが福岡市城南区地

域連携事業「福岡市城南区の歴史を歩く」です。

プロジェクトは福岡大学地域ネット推進センターの肝いりで、本学人文学部歴史学科考古学研究室・文化人類学研究室を中心

に2011年から本格スタートしました。企画運営の業務に携わった人文学部歴史学科の桃崎先生と発足時の担当だった城南区役所の岩戸さんは、計画のプログラム作成に際し熱く意見を交わしたといいます。議論の末、地域の歴史ガイドができるよう人材を育成するために

講座を始めたとき、最終的に本を刊行するこれが目標でしたので、やり遂げた充実感でいっぱいです。大学×行政×市民が一丸となり、意識の高い人ばかりだったから完走できました。メンバーが本当に良かったです。

福岡市城南区役所 区政推進部生涯学習推進課 係長 岩戸 昌治(左)

講座を始めたとき、最終的に本を刊行するこれが目標でしたので、やり遂げた充実感でいっぱいです。大学×行政×市民が一丸となり、意識の高い人ばかりだったから完走できました。メンバーが本当に良かったです。

福岡市城南区役所 区政推進部生涯学習推進課 課長 牧瀬 勝(左)

大学と地域、双方が熱くなって進めたからこそ、素晴らしい成果が生まれたのだと思います。講座参加者によって地域的魅力が発信され、その思いが若い人たちへとつながっていくことを期待しています。

福岡市城南区役所 区政推進部生涯学習推進課 課長 牧瀬 勝(左)

大学と地域、双方が熱くなっています。講座をきっかけに、地域の歴史を発見することができます。講座が終わったら今もライフワークとして調査を続けています。

福岡市城南区役所 区政推進部生涯学習推進課 課長 牧瀬 勝(左)

## 福岡大学の知的財産を地域に還元、 地域への愛着を共に深める

福岡大学・城南区地域連携事業「福岡市城南区の歴史を歩く」  
コラボレーション図

### 地域

#### 城南区の市民

講座を通して住み慣れた城南区の歴史を再発見し、地域に愛着が湧く。将来、地域の歴史ガイドが育つことが期待される。

#### 地域連携事業

##### 大学

##### 大学

●福岡大学  
考古学・文化人類学の研究成果を地域に還元。

##### 城南区との連携事業でのノウハウを生かし、他区でも展開していく。

##### 行政

##### 地域行政

●福岡市城南区役所  
市民が地域の歴史を学ぶことのできる場を提供するなど、人材育成を行うとともに、魅力あるまちづくりを進める。

個性と個性が融合して、新しい何かをつくる、可能性を開く。  
そんな福岡大学コラボレーションの魅力を紹介します。

福岡市がある城南区には重要な遺跡や文化財が数多くあります。しかし専門家による調査を実施して歴史遺産、観生活などを発見する取り組みが計画されません。それが福岡市城南区地

域連携事業「福岡市城南区の歴史を歩く」です。

プロジェクトは福岡大学地域ネット推進

センターの肝いりで、本学人文学部歴史学科考古学研究室・文化人類学研究室を中心

に2011年から本格スタートしました。企画運

営の業務に携わった人文学部歴史学科の桃崎

先生と発足時の担当だった城南区役所の岩戸

さんは、計画のプログラム作成に際し熱く意見

を交わしたといいます。議論の末、地域の歴史

ガイドができるよう人材を育成するためには

まずは歴史講座を開き、さらにウォーキング

マップや本を刊行することを決めました。

「城南区歴史探訪講座」として考古学・文化

人類学の連続講座が2011年～2012年に

各6回実施され、毎回多くの城南区民(登録約

100人)が聴講しました。講座ではA3判25

枚の資料集を配布、内容も専門性の高い

ものでした。が、自分で考え自発的に調べて

くる受講者もいるほど熱気があふれています。

2013年10月には、ウォーキングマップを

まとめ、さらに本学OBで九州大学大学院生

の桃崎敦司さんが中心となり、桃崎先生が総

括する形で「城南区の歴史散策」を行います。城南区の歴史モニュメント調査報告書を2013年度末に刊行。この報告書には城南区の旧石器時代から近世・近現代までの歴史概観と時代別遺跡概観、城南区周辺の遺跡や遺物に関する特論を収録。また各遺跡の範囲・遺跡地図などを掲載する予定です。

**学 × 政 × 地**  
—いっしょだから×もっと—

Collaboration F



1 2 講座では福岡大学内で拓本採りの実習が行われた 3 「城南区の歴史散策」刊行記念講演の様子 4 ウォーキングマップと冊子「城南区の歴史散策」 5 桃崎先生がまとめた講座用の配布資料 6 7 大牟田古墳群の調査では学生が活躍 8 9 友泉亭公園で学生とお茶会。桃崎先生は学生が日本の文化と触れ合う機会を設けている

## ◆国際試合や全国レベルの大会で活躍した学友を表彰

2013年9月30日(月)、60周年記念館ヘリオスホールで、平成25年度上期の課外教育活動成績優秀者の表彰式を行いました。課外教育活動において優秀な成績を収めた15人および4団体に対し、衛藤卓也学長から表彰状が贈られました。



### 団体の部(全日本選手権優秀成績)

学友会名	大会名および種目	結果
サッカー部	第37回総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント	3位タイ
モーターボート・水上スキー部	第58回 桂宮杯 全日本学生水上スキー選手権大会 男子団体総合	第3位
なぎなた同好会	第58回 桂宮杯 全日本学生水上スキー選手権大会 女子団体総合	第3位
	第52回全日本学生なぎなた選手権大会 団体の部	第3位

### 個人(全国大会3位以上)

学友会名	氏名(学部および年次)	大会名および種目	結果
陸上競技部	岩本 航さん(商学部 4年次生)	天皇賜盃第82回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子走高跳	第3位
	杉山 真奈穂さん(スポーツ科学部 3年次生)	第29回静岡国際大会 女子400mハードル	第3位
	莉田 萌さん(スポーツ科学部 3年次生)	天皇賜盃第82回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子400mハードル	第3位
	元木 純乃さん(経済学部 2年次生)	2013日本学生陸上競技個人選手権大会 女子走高跳	優勝
	保坂 真里奈さん(商学部 2年次生)	2013日本学生陸上競技個人選手権大会 女子やり投	第3位
	阿比留 明久さん(スポーツ科学部 2年次生)	2013日本学生陸上競技個人選手権大会 女子10000m競歩	第3位
		天皇賜盃第82回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子三段跳	第3位
モーターボート・水上スキー部	藤田 侑希さん(商学部 2年次生)	2013日本学生陸上競技個人選手権大会 男子三段跳	第3位
		第58回 桂宮杯 全日本学生水上スキー選手権大会 男子ジャンプ部門	第3位
書道部	宮田 凌雅さん(経済学部 1年次生)	第18回全日本高校・大学書道展 51作品/10,282作品中	大賞
	大岡 韶さん(スポーツ科学部 4年次生)	第52回全日本学生なぎなた選手権大会 演技競技(大岡・田中組)	優勝(2年連続)
	田中 利江さん(スポーツ科学部 3年次生)	第52回全日本学生なぎなた選手権大会 試合競技・個人の部	第3位
百人一首愛好会	溝口 文菜さん(商学部 2年次生)	第20回全日本大学かるた選手権大会 学年別戦(2年生の部)	第2位

### 個人の部(国際試合等対象選手)

学友会名	氏名(学部および年次)	大会名および種目	結果
陸上競技部	記野 友凜さん(スポーツ健康科学研究科 2年次生)	ユニバーシアード競技大会2013(ロシア/カザン) 陸上競技 男子400mハードル	第4位
野球部	梅野 隆太郎さん(スポーツ科学部 4年次生)	第39回日本大学野球選手権大会 大学日本代表主将 全試合4番 16打数6安打 4打点 1本塁打 打率3割7分5厘	優勝
サッカー部	藤嶋 栄介さん(スポーツ科学部 4年次生)	ユニバーシアード競技大会2013(ロシア/カザン) サッカー競技	第3位
	大武 峻さん(スポーツ科学部 3年次生)	ユニバーシアード競技大会2013(ロシア/カザン) サッカー競技	第3位

## ◆商学部第二部が「社会人コース」履修生を募集

商学部第二部商学科では、会社員、中間管理職、経営者、公務員、幹事長、リカレント教育希望者等の社会人を対象に、1年間の履修期間でビジネス・マネジメントを体系的に学べる「社会人コース」を開設しています。コース修了者には、学校教育法第105条に基づく

履修証明書(社会人コース修了証)を授与します。1年間で修了できない場合には、1年間の延長も可能です(追加受講料は不要)。平成26年度履修生募集の詳細については、商学部事務室にお問い合わせください。



安藤 明彦さん

福岡大学法学院 2005年卒業  
福岡大学法科大学院 2006年入学 第3期生

佐々田 由華子さん

福岡大学法学院 1999年卒業  
福岡大学法科大学院 2008年入学 第5期生

平田 卓さん

福岡大学法学院 2006年卒業  
福岡大学法科大学院 2006年入学 第3期生

## 2013年、難関の試験に合格し福岡大学法科大学院で学んだ3人の法曹への道のり

### 社会に役立つ法律家を目指し法科大学院の門を叩いた3人

いつも近くで見守り熱く指導してくれる先生方と仲間の存在が合格に導いてくれた

母校の法科大学院での学びについて尋ねると、「授業はどれも比較的少人数。具体的な事案をテーマに深く掘り下げて考え、議論を重ねいくものが主流でした」と安藤さんは学部時代から法曹の道を志し、いのき門です。2013年度は本学法科大学院から3人の本学法科試験。法科大学院課程修了者が修了後5年内に3回しか受験することができない限り門です。2013年度は本学法科大学院の第3期生として入学した安藤さんと平田卓さん。2人は在学中はもちろんのこと卒業後も卓立ゼミを組んで法律家になりました

思い出の詰まった本学法科大学院模擬法廷にて。3人はここで、具体的な事案を題材に、さまざまな角度から意見を交わし合い、自分なりの表現力を磨いていったと言います。

法曹を目指す者が必ず通る難関、司法試験。法科大学院課程修了者が修了後5年内に3回しか受験することができない限り門です。2013年度は本学法科大学院の第3期生として入学した安藤さんと平田卓さん。2人は在学中はもちろんのこと卒業後も卓立ゼミを組んで法律家になりました

法科大学院の第3期生として入学した安藤さんと平田卓さんとして入学した安藤さんと平田卓さん。2人は在学中はもちろんのこと卒業後も卓立ゼミを組んで法律家になりました



佐々田 由華子さん

母校の法科大学院での学びについて尋ねると、「授業はどれも比較的少

人数。具体的な事

案をテーマに深く掘り下げて考え、議論を重ねいくものが主流でした」と安藤さんは学部時代から法曹の道を志し、いのき門です。2013年度は本学法科大学院の第3期生として入学した安藤さんと平田卓さん。2人は在学中はもちろんのこと卒業後も卓立ゼミを組んで法律家になりました

法科大学院の第3期生として入学した安藤さんと平田卓さん。2人は在学中はもちろんのこと卒業後も卓立ゼミを組んで法律家になりました

法科大学院の第3期生

## 第4回

# 寄付者ご芳名一覧

（福大生サポート募金）

福大生サポート募金は「本学の学生に対する全人教育の推進、豊かな学生生活の形成を支援する制度」として、在学生、卒業生、ご父母、大学の相互の絆をより一層強めるとともに、本学独自の寄付文化の醸成を図ることを目指し、平成23年6月から開始いたしております。

この福大生サポート募金の趣旨にご賛同いただいた皆さまから、任意のご寄付にもかかわらず、母、大学の相互の絆をより一層強めるとともに、本学独自の寄付文化の醸成を図ることを目指し、平成23年6月から開始いたしております。

一、今後も、年2回（冬号「1月発行」および夏号「6月発行」）掲載する予定です。

なお、本募金は金額の多寡にかかわらず、末長く継続的にご支援をお願い申しあげます。

この福大生サポート募金の趣旨にご賛同いただいた皆さまから、任意のご寄付にもかかわらず、母、大学の相互の絆をより一層強めるとともに、本学独自の寄付文化の醸成を図ることを目指し、平成23年6月から開始いたしております。

## 寄付者ご芳名掲載要領

一、本号では、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの寄付者のご芳名を掲載します。

一、卒業生、在学生のご父母、職員、役員、企業等法人、その他という募金対象者の区分ごと、寄付金額の多い順、およびご芳名は五十音順に掲載します。

一、分割での払い込みの方は、平成25年4月1日から平成25年9月30日までにご寄付をいただいた金額と募金期間中の累計金額を（）で掲載します。

※同じ方が卒業生、職員等別の立場でご寄付をされた場合は、それぞれの欄に掲載させていただいている点、ご了承ください。

※金額掲載について  
本募金は原則として、個人・法人を問わず寄付金額の対象となります。詳しくは「募金趣意書」に記載しておりますので、ご覧ください。

## 募金に関するお問い合わせ先

### 福岡大学 財務部財務課

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号

TEL 092-871-6631(代) 内線2313~2316

FAX 092-862-7204

E-mail zaimuku@adm.fukuoka-u.ac.jp

※福大生サポート募金ウェブサイト  
<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu854/bokin/>

## 寄付金受入状況【使途別】

平成25年9月30日現在

使途	寄付金額(円)
経済的困窮学生に対する給付費	3,767,835
学生海外大学派遣プログラム	703,700
学生スポーツ強化	775,200
職員・役員	386,200
企業等法人	19,716,196
その他、学生支援事業	合計 25,349,131

## 寄付金受入状況【募金対象者別】

平成25年9月30日現在

募金対象者	寄付人(法人)数	寄付金額(円)
卒業生	456	8,496,969
在学生のご父母	295	5,337,000
職員・役員	142	4,794,162
企業等法人	6	5,560,000
その他	7	1,161,000
合計	906	25,349,131

## 七十二候一日々折々の詩

本誌「福岡大学園通信」に関するご感想をお寄せください。より良い広報誌づくりのために、ご意見・ご感想などをお待ちしています。  
また、情報提供などありましたらお知らせください。  
第44号(通巻214号)平成26年1月15日発行  
編集・発行:福岡大学広報委員会(企画部広報課)  
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号  
TEL:092-871-6631(代) E-mail:fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp

## Event Schedule

\*学部や学年などによって異なる場合があります。

- 1月 冬季休業終了(4日)  
後期授業再開(6日)  
後期授業終了(14日)  
後期定期試験(15日~27日)  
大学入試センター試験(18日・19日)
- 2月 学部留学生入試(1日)  
一般入試[系統別日程](本学・各地3日)  
一般入試[前期日程](本学・各地4日~7日、11日)  
医師国家試験(8日~10日)  
成績発表開始 医学部医学科第1学年(13日)(4年次生以上 他)(17日~)  
保健師国家試験(14日)  
看護師国家試験(16日)  
大学院春季入試(16日~19日)  
海外研修生派遣(オーストラリア・アメリカ)(18日~3月18日)  
一次学士合格者発表(21日)  
一般入試[系統別日程・前期日程]、センター・プラス型入試、  
大学入試センター試験利用入試合格発表(22日)  
学部留学生入試合格発表(22日)  
海外語学研修生派遣(中国)(23日~3月9日)  
道・再試験(27日~3月4日)  
修士・博士学位合格者発表(27日)  
交換留学生派遣(中国・韓国・台湾)
- 3月 薬剤師国家試験(1日・2日)  
一般入試[スポーツ科学部特別募集]、  
社会人入試[後期日程]、編・転・学士入試(4日)  
大学院春季入試合格発表(4日)  
一般入試[後期日程](6日)  
二次学士合格者発表(14日)  
一般入試[後期日程・スポーツ科学部特別募集]、  
社会人入試[後期日程]、編・転・学士入試合格発表(15日)  
在学生統発表開始(17日~)  
医師国家試験合格発表(18日)  
学部卒業式・大学院学位記(修士)授与式(19日)  
商学部第二部卒業セレブション(19日)  
大学院学位記(博士)授与式(25日)  
看護師国家試験合格発表(25日)  
保健師国家試験合格発表(25日)  
薬剤師国家試験合格発表(31日)  
在学生履修登録(下旬)
- 4月 入学式(1日)  
前期授業開始(8日)

## ◆「グローバル社会と大学の可能性」と題し グローバル人材育成教育学会の 発足記念シンポジウムを本学で開催

国際的な経済競争が激化する中、経済成長や市場拡大の面でグローバル化が欠かせない現代。英語力に優れ、世界で活躍できる人材を育てるという命題を大学は背負っています。そうした時代を背景に、各個大学の枠組みを超えた情報交換や共同研究、またグローバル人材育成にあたる教員の資質向上を目指す「グローバル人材育成教育学会」の発足を記念して、昨年10月25日(金)、831教室でシンポジウムが開催されました。

前半は日産自動車株式会社COO(最高執行責任者・当時の志賀俊之氏)特別講演「グローバル競争を勝ち抜くグローバル人財」。志賀氏は「日本人の良さや強みは生がしながら、「共感力」と「多様性(ダイバーシティ)」を持って」と企業の視点から学生たちにエールを送りました。後半は6人のパネリストによるシンポジウムでさらに深い議論を展開。北九州市立大学、秋田県の国際教養大学、本学のグローバル人材育成の取り組みや大学教育の可能性について熱い議論が交わされました。



(パネリスト)

廣實郁郎(九州経済産業局長) / 志賀俊之(日産自動車株式会社COO・当時) / 勝又美智雄(国際教養大学教授) / 添原朗子(北九州市立大学副学長) / 小野博(福岡大学客員教授) / 司会:早川信夫(NHK解説主幹) ※敬称略



いいものを作るだけではなく、発信力も大切

と語る志賀COO(当時)



本シンポジウムは社会的意義の高さからNHK Eテレでも放送

## ◆第9回(平成25年度)全国高校生 川柳コンクールの入選作品が決定

本学が主催する第9回(平成25年度)全国高校生川柳コンクール(後援:文化庁、全日本川柳協会、福岡県ほか)の入選作品53作品(大賞作品、優秀賞2作品、入賞50作品)が決定しました。

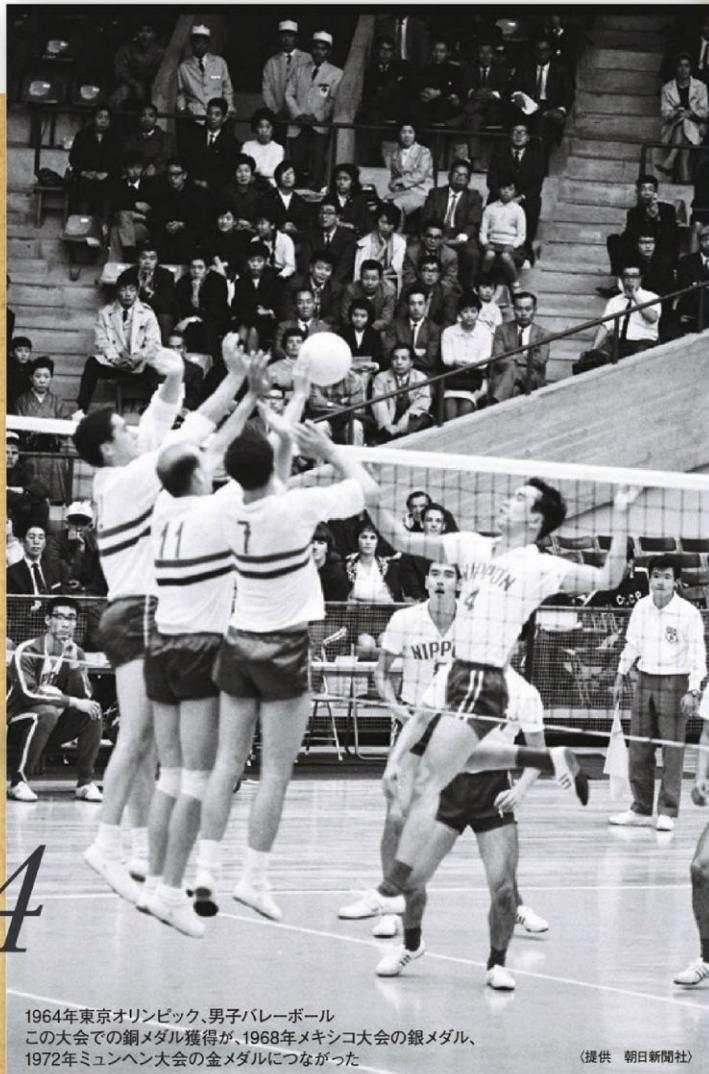
このコンクールは、高校生が自ら感じたり考えたりしていることを自由に表現してもらおうと企画したもので、今年度は全国143校の高校生8,818人から19,558句が寄せられました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

詳細は  
こちら  
第9回(平成25年度)全国高校生川柳コンクールの詳細は、個別のウェブサイトをご覧ください。高校生 川柳 検索

大賞 福岡県 東福岡高等学校1年 原田 真道さん  
テストにも三分欲しいロスタイル  
優秀賞 福岡県 福岡市立安藤高等学校1年 の場 麻衣さん  
うきわから 空気鳴く音 夏終わる  
優秀賞 福岡県 福岡大学附属若葉高等学校2年 栗原 明日香さん  
花火見て 化学を思う 理系女子

# あの日からの贈り物 Archive

GIFT.4 热き思いを、未来につなげる



1964年東京オリンピック、男子バレーボール  
この大会での銅メダル獲得が、1968年メキシコ大会の銀メダル、  
1972年ミュンヘン大会の金メダルにつながった

(提供 朝日新聞社)

1964

ゼッケン4番は本学卒業生の中野尚弘(旧姓  
池田)さん。メキシコ大会で主将、ミュンヘン大  
会でコーチ、ロサンゼルス大会で監督を務めた

1964年、東京オリンピックで  
福岡大学の卒業生が  
先輩や後輩の声援を受けて  
熱く激しく、燃えた。

「思想堅実・穩健中正  
質実剛健・積極進取」

福岡大学の建学の精神は

スポーツだけでなくあらゆる分野で  
大きな花を開き、実を結ぶ。

ここで学ぶ誰もが熱き思いを受け継ぎ  
高い志を掲げ、夢の実現に邁進する。

幾年月を経てもその伝統は途切れることなく  
連綿と受け継がれていく。

福大魂の若者が伝統を受け継ぎ  
夢の舞台で活躍することを期待したい。

1972

1960

2020

1968